

DDX5020S

MONITOR WITH DVD RECEIVER

取扱説明書 保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



android
auto



My-Kenwood (ユーザー登録) のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

安全上のご注意 (必ずお守りください) 4

取り付けや配線について.....	4
使用方法について.....	6
異常時の問い合わせ.....	7

使用上のご注意 8

本機の異常にお気づきのときは.....	8
本機について.....	8
電波について.....	9

基本操作 10

各部の名称とはたらき.....	10
電源をオンにする.....	10
使ってみよう.....	11
音量を調節する.....	12
タッチパネルの基本操作.....	12
ホーム画面.....	13
ソースと項目の選択画面.....	13
ソースコントロール画面.....	15
メニュー画面.....	16
リスト画面.....	16

ディスク 17

ディスクを再生する.....	17
DVD/VCDの基本操作.....	17
DVD-VRの基本操作.....	19
音楽CDの基本操作.....	21
DVDディスクメニューの操作.....	22
DVD設定.....	23

APPS 24

Apple CarPlayの操作.....	24
Android Autoの操作.....	25
USB Mirroringの操作.....	26

USB 27

USB機器を接続する.....	27
USBの基本操作.....	27
検索操作.....	29

ラジオ 30

ラジオの基本操作.....	30
プリセットの操作.....	31
選択操作.....	31

Bluetooth 32

Bluetooth®機器の使用に関する情報....	32
Bluetooth機器の登録.....	33
Bluetooth設定.....	33
Bluetoothオーディオ機器を再生する....	34
Bluetooth電話を使用する.....	36

その他の外部機器 40

リアビューカメラ.....	40
外部オーディオ/ビデオプレーヤー — AV-IN.....	41

設定 42

画像調整.....	42
システム設定.....	42
ユーザーインターフェース設定.....	43
Special設定.....	43
画面設定.....	44
AV機器の設定.....	45

オーディオ設定 46

スピーカー / クロスオーバー設定	46
オーディオの基本設定 (フェダー / バランス)	47
イコライザー調整	48
ソースレベル調整	49
サウンドエフェクト設定	49
リスニングポジション / タイムアライメント設定	50

接続 / 取り付け 51

本機を取り付ける前に	51
本機の取り付け	51

故障かな？と思ったら 56

問題と解決方法	56
エラーメッセージ	57

付録 58

メディアおよびファイルについて	58
世界のリージョンコード	62
言語コード (DVD 言語選択用)	63
主な仕様	64
本機について	66
ソフトウェア使用許諾契約書	68
保証とアフターサービス	70

本機のサポート情報を役立てよう！

本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報や最新の取扱説明書、新機能など本機の最新情報を掲載しています。

<https://www.kenwood.com/jp/car/>



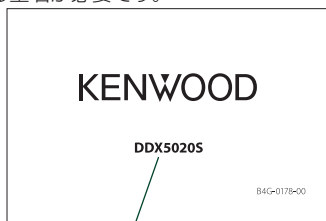
FAQ (よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。本書の「故障かなと思ったら」と合わせてこちらもご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>



修理を依頼したり、サポート情報を入手したりするには、付属の型名カードに記載されている型名が必要です。





型名




安全上のご注意（必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

警告



本機は DC12V ⊖ アース車以外で使用しない

必ず本機を DC12V ⊖ アース電源に接続してください。DC24V 車（大型トラックや寒冷地仕様ディーゼル車など）で使用しないでください。火災や故障の原因になります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

アクセサリ電源コード（赤）とバッテリー電源コード（黄）を車のシャーシ（アース）に接触させない

回路がショートして火災の原因になる場合があります。



電源は必ずケーブルにヒューズを通して接続する

アクセサリ電源コード（赤）とバッテリー電源コード（黄）からヒューズを切り離さないでください。電源は必ずヒューズを通してアクセサリ電源コード（赤）とバッテリー電源コード（黄）に接続してください。

取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要で、誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

⚠ 警告



作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品やネジ、指定の部品を使用する

お手持ちの部品やネジを使用しないでください。指定外の部品やネジを使用すると、本機の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。ケーブルの保護とショート防止のために、ケーブルをケーブルクランプで固定して、金属部品に接触するケーブルはビニールテープを巻いてください。

パーキング検出（パーキングブレーキ）コードは正しく配線する

正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意



自動車のコンソールに取り付ける

コンソールにふたがある場合、開閉時にモニターパネルがふたに当たらないように設置してください。

スピーカーのケーブルは対応する端子に正しく接続する

⊖ケーブルを共有したり、車内の金属部品にアースしたりした場合、本機が破損する、または動作しない場合があります。

接続していないケーブルはビニールテープまたは他の類似の材料で絶縁する

ショートすることを防ぐために、接続していないケーブルまたは端子の端部のキャップを取り外したり、コードを出したりしないでください。



本機の使用および使用直後は、本機の金属部品に触れない

本機の背面や側面など（ヒートシンクやエンクロージャなど）の金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けけない

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。極端に暑いまたは湿度の高い場所も避けてください。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。ホコリが極端に多い場所や、水に浸かる可能性がある場所も避けてください。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

⚠ 注意



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

天井の低い場所に駐車する場合は、本機の電源をオフにして、アンテナを収納する
オートアンテナ搭載車に本機を取り付けている場合、アンテナコントロールケーブル（ANT. CONT）（P.55）が接続された状態で本機の電源を入れるとアンテナが自動で伸びます。

使用方法について

⚠ 警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口に依頼してください。

⚠ 注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

本機をご使用になる前に、以下の点に注意してください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな？と思ったら」(P.56)を参照して解決方法がないかお調べください。

解決方法が見つからない場合は、本機をリセットしてください。

本機のリセットのしかた

リセットボタンを押すと、本機がリセットされ再起動します。



リセットボタン

本機をリセットしても異常がある場合は、本機の電源を切り、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

本機について

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、販売店へ連絡してください。

お手入れについて

画面や操作ボタンが汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。スプレー式のクリーナーを直接吹きかけると故障の原因になります。硬い布やシンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。画面に傷がついたり文字が消えたりすることがあります。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいたることがあります。故障ではありません。

オートアンテナ（電動アンテナ）搭載車に本機を取り付けるときは

オートアンテナ搭載車に本機を取り付けているときは、本機の電源を入れるとアンテナが自動で伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにしてください。

音量設定について

デジタル機器は他のソースと比べて、ノイズが少なくなります。出力レベルが急に上がることでスピーカーが破損しないように、デジタル機器から再生する前には、音量を下げてください。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解 / 改造すること
 - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4: 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH: FH-SS 変調方式を表します。

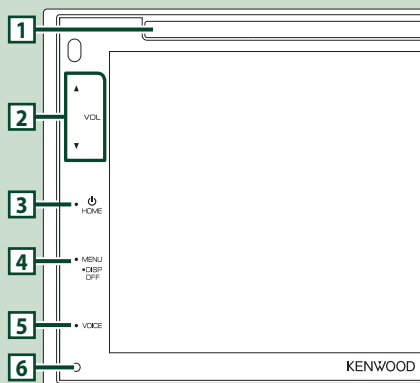
1: 電波干渉距離は 10 m です。

■ ■ ■: 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10 m です。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

基本操作

各部の名称とはたらき



注意・補足

- この取扱説明書に示すパネルと画面は、機能をわかりやすく説明するための例です。そのため、実際のパネルや画面とは異なる場合があります。

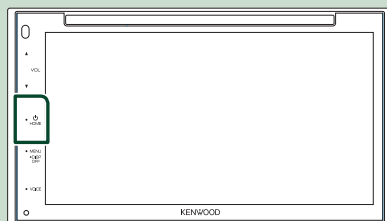
名称

- はたらき

1	ディスク挿入口 • ディスクを挿入します。(P.17)
2	▼、▲ ([VOL]) • 音量を調節します。 ▲ を押し続けると、レベル 15 まで音量が上がります。
3	[HOME] • ホーム画面を表示します。(P.13) • 電源をオフにするときは 1 秒間押します。 • 電源がオフのときに押すと、電源をオンにします。
4	[MENU] • MENU 画面を表示します。 • 1 秒間押すと画面表示をオフにします。
5	[VOICE] • 音声認識画面を表示します。(P.37)
6	リセットボタン • 本機または接続している機器が正常に動作しない場合、このボタンを押すと初期設定に戻ります。

電源をオンにする

- 1 [HOME] ボタンを押す



▶ 本機の電源がオンになります。

- 本機の電源をオフにするには：

- 1 [HOME] ボタンを 1 秒間押す

注意・補足

- 本機を設置後、初めて電源をオンにしたときは、初期設定を行います。(P.11)

使ってみよう

初期設定

本機を初めてご使用になる際は、初期設定を行ってください。

1 各項目を設定する



■ [言語]

コントロール画面の言語と設定項目を選びます。

初期値：“日本語”

- ① [言語] をタッチする
- ② [言語] をタッチする
- ③ 言語を選ぶ
- ④ をタッチする

■ [時計]

時計の設定をします。

詳しい操作は**日付と時計の設定 (P.11)**をご覧ください。

■ [画面]

画面の背景画像を設定します。

- ① [画面] をタッチする
 - ② [背景画像] をタッチする
 - ③ 画像を選ぶ
 - ④ をタッチする
- 詳しい操作は**画面設定 (P.44)**をご覧ください。

■ [Camera]

カメラの設定を行います。

- ① [Camera] をタッチする
 - ② 各項目を設定し、 をタッチする
- 詳しい操作は**Camera 設定 (P.40)**をご覧ください。

■ [店頭デモ]

デモンストレーションモードを設定します。

初期値：“ON”

- ① [店頭デモ] の [ON] または [OFF] をタッチする

2 [終了] をタッチする



注意・補足

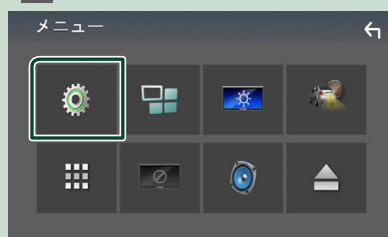
・これらの設定はセットアップメニューで変更できます。**設定 (P.42)** をご覧ください。

日付と時計の設定

1 [MENU] ボタンを押す

▶ メニュー画面が表示されます。

2 をタッチする



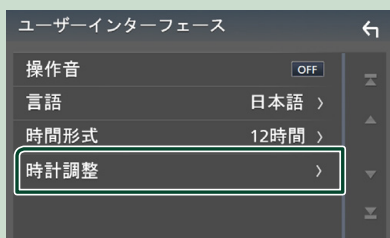
▶ 設定画面が表示されます。

3 [ユーザーインターフェース] をタッチする



▶ ユーザーインターフェース画面が表示されます。

4 [時計調整] をタッチする



5 日付を設定してから、時間を設定する



6 [決定] をタッチする

音量を調節する

音量は、レベル0～40の間で調節できます。

▲ を押すと大きくなり、▼ を押すと小さくなります。

▲ を押し続けると、レベル 15 まで連続的に上がります。

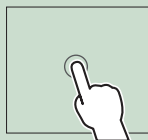


タッチパネルの基本操作

画面上で操作を行う際は、タッチ、タッチし続ける、フリック、スワイプを行うことによって項目の選択、設定メニュー画面の表示、ページの変更などができます。

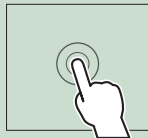
● タッチする

画面をやさしくタッチし、画面上の項目を選びます。



● タッチしつづける

画面をタッチし、表示が切り替わる、またはメッセージが表示されるまで、そこから指を放しません。



● フリックする

画面をタッチした指を素早くスライドさせます。

左右にフリックするとページ切り替え、上下にフリックするとリスト画面のスクロールができます。



● スワイプする

画面上で指を上下にスライドさせると、画面をスクロールできます。



ホーム画面

選択中のソースや、よく使うソースのショートカットボタンなどが表示されています。



- 1 選択中のソースのコントロール画面を表示します。
- 2 選択中のソース情報を表示します。
- 3 ソースと項目の選択画面を表示します。
(P.14)
- 4 ショートカットボタン **(P.14)**
- 5 電話画面を表示します。 **(P.36)**
Apple CarPlay または Android Auto に接続中の場合は、Apple CarPlay または Android Auto の電話機能として動作します。

ホーム画面を表示する

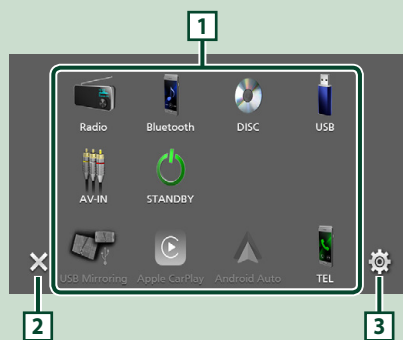
1 [HOME] ボタンを押す



- ▶ ホーム画面が表示されます。

ソースと項目の選択画面

全ての再生ソースが表示されます。設定画面を表示することもできます。



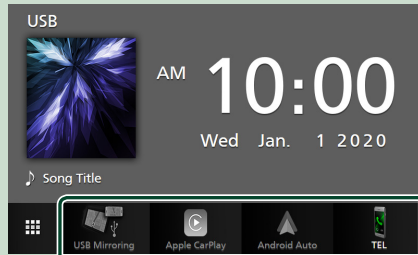
- 1 再生ソースを変更します。
再生ソースについては、**ソースと項目の選択 (P.14)** をご覧ください。
- 2 前の画面に戻ります。
- 3 設定画面を表示します。 **(P.42)**

ソースと項目の選択

- 1** ホーム画面の  をタッチする
以下のソースと機能を選択できます。


	<ul style="list-style-type: none"> • USB Mirroring 画面に切り替えます。(P.26) 「Mirroring OA for KENWOOD」アプリをインストールしたAndroidスマートフォンを本機に接続し、[モード]で[Mirroring for Android™]を設定する必要があります。(P.26)
	<ul style="list-style-type: none"> • Apple CarPlay 画面に切り替えます。(P.24) Apple CarPlay 対応の iPhone を本機に接続する必要があります。
	<ul style="list-style-type: none"> • Android Auto 画面に切り替えます。(P.25) Android Auto 対応の Android スマートフォンを本機に接続し、[モード]で[Android Auto]を設定する必要があります。(P.26)
	<ul style="list-style-type: none"> • 電話画面を表示します。(P.36) Apple CarPlay、Android Auto、Bluetooth ハンズフリー機能の付いた電話のいずれも接続されていないと、“接続されていません”のメッセージが電話画面に表示されます。 Apple CarPlay または Android Auto を接続している場合は、Apple CarPlay または Android Auto の電話機能として動作します。
	<ul style="list-style-type: none"> • ラジオ放送を受信します。(P.30)
	<ul style="list-style-type: none"> • 本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。(P.32)
	<ul style="list-style-type: none"> • CD や DVD ディスクを再生します。(P.17)
	<ul style="list-style-type: none"> • USB 機器のファイルを再生します。(P.27)
	<ul style="list-style-type: none"> • AV-IN 入力端子に接続した外部機器に切り替えます。(P.41)
	<ul style="list-style-type: none"> • ソースをすべてオフにします。(P.14)

ホーム画面の再生ソースを選択するには



ソースと項目の選択画面で下に並んでいる4項目はホーム画面にも表示されます。このエリアに表示される項目(ショートカットボタン)は、ソースと項目の選択画面のカスタマイズで変更できます。**(P.15)**

ソースをすべてオフ(STANDBY)にする

- 1** ホーム画面の  をタッチする
- 2** **[STANDBY]** をタッチする



ホーム画面のショートカットボタンをカスタマイズする

ホーム画面に表示する項目を変更できます。

1 ホーム画面の  をタッチする

2 移動したいショートカットボタンをタッチし続ける

四角い枠が表示され、ショートカットボタンが移動できるようになります。

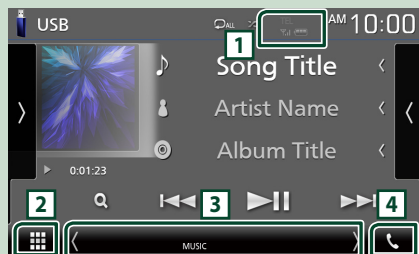
3 移動したい場所にドラッグする



ソースコントロール画面

再生中の操作や各種設定は、各ソースのコントロール画面から操作できます。

コントロール画面の共通の操作ボタンと表示



サブメニュー







1  /  

接続されている Bluetooth 機器の情報を表示します。

2  オールソースアイコン

ソースと項目の選択画面を表示します。

3 サブ画面

-  /  : タッチすると、サブ画面が切り替わります。サブ画面を左または右にフリックして切り替えることもできます。
- インジケータ: 選択中のソースの状態などを表示します。
 - MUTE: 消音機能がオンになっています。
 - LOUD: ラウドネスコントロール機能がオンになっています。
- サブメニュー
 - DIM: 画面の明るさを切り替えます。タッチするたびに画面が暗くなり、3 回目まで元の明るさに戻ります。
 -  : イコライザー画面を表示します。(P.48)
 -  : アプリケーション (Apple CarPlay/Android Auto) 画面を表示します。(P.24)

4 

電話画面を表示します。(P.36)

Apple CarPlay または Android Auto に接続中の場合は、Apple CarPlay または Android Auto の電話機能として動作しません。

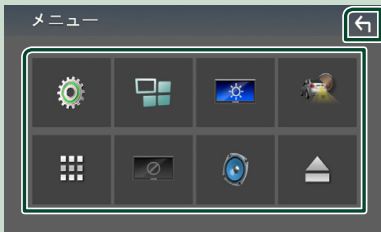
メニュー画面

1 [MENU] ボタンを押す



▶ メニュー画面が表示されます。

2 操作したいメニューのアイコンをタッチする



メニューの内容は下記のとおりです。

	・設定画面を表示します。(P.42)
	・アプリケーション (Apple CarPlay/Android Auto) 画面を表示します。(P.24)
	・画面調整画面を表示します。(P.42)
	・Camera 画面を表示します。(P.40)
	・ソースと項目の選択画面を表示します。(P.14)
	・画面表示をオフにします。(P.16)
	・オーディオ画面を表示します。(P.46)
	・ディスクを取り出します。(P.17) ・ディスクを強制的に取り出したいときは、2秒間タッチしてメッセージが表示されたら【はい】をタッチします。
	・メニュー画面を閉じます。

画面表示をオフにする

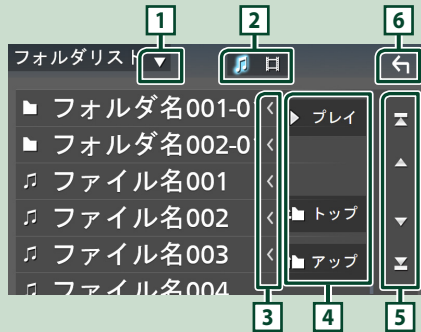
1 メニュー画面の をタッチする



画面表示をオンにするには、画面をタッチします。

リスト画面

各ソースのリスト画面には、共通のファンクションキーがあります。



1 ▼

リストタイプの一覧を表示します。

2

音楽 / 動画のファイルリストを表示します。

3 テキストスクロール

表示されたテキストをスクロールします。

4 ▶ プレイ ほか

色々な機能のキーがここに表示されます。

- ・ **▶ プレイ** : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべての曲を再生します。
- ・ **▶ アップ** / **▶ トップ** : リストの一番上に移動します。

5 / / / ページスクロール

- ・ / : ページを切り替えて、表示されていない項目を表示します。
- ・ / : ページの先頭または最後を表示します。

6 戻る

1つ前の画面に戻ります。

注意・補足

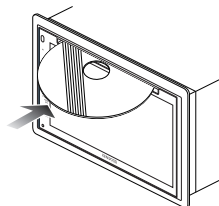
- ・上記のうち、使用できるボタンが表示されます。

ディスク

ディスクを再生する

■ ディスクの挿入

1 ディスクを挿入口に挿入する



- ▶ 本機がディスクを読み込み再生が始まります。

■ ディスクの取り出し

1 [MENU] ボタンを押す

- ▶ メニュー画面が表示されます。

2 ▲ をタッチする



ディスクを取り出す際は水平方向に引きま
す。

注意・補足

- ディスクを強制的に取り出すには、▲ を 2 秒間タッチし続け、メッセージが表示されたら [はい] をタッチします。

DVD/VCD の基本操作

再生中の操作や各種設定は、コントロール画面とビデオ画面から操作できます。

注意・補足

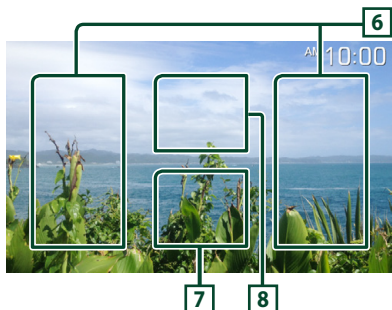
- ここでは DVD の画面で説明しています。VCD の場合は異なる場合があります。

1 [7] のエリアをタッチし、コントロール画面を表示する

コントロール画面



ビデオ画面



1 ファンクションパネル







画面の左側をタッチすると、ファンクションパネルを表示します。もう一度タッチすると、パネルが閉じます。詳細は、**ファンクションパネル (P.19)** をご覧ください。

2 再生モードインジケータ / 再生時間


- ▶、▶▶、■、など：現在の再生モードが表示されます。
各アイコンの機能：
 - ▶ (再生)、▶▶ (早送り)、◀◀ (早戻し)、■ (停止)、R (レジューム再生)、II (一時停止)、I▶ (スロー再生)、◀I (スロー逆再生)

3 インフォメーション表示エリア

以下の情報を表示します。

- [非表示]：コントロール画面を隠します。
- ：再生中のコンテンツをリピートします。キーをタッチするたびに、以下の順でモードを切り替えます。
 - DVD：タイトルリピート ()、チャプターリピート ()、リピートオフ ()
 - VCD (PBC オン)：リピートしません。
 - VCD (PBC オフ)：トラックリピート ()、リピートオフ ()
- Title #、Chapter #:DVD タイトルとチャプター番号
- Track # / Scene #:VCD トラックまたはシーン番号
シーン番号は再生コントロール (PBC) がオンのときのみ表示されます。
- Linear PCM、ほか：オーディオ形式

4 操作キー

- ◀◀ ▶▶：前 / 次のコンテンツに切り替えます。
タッチし続けると、ディスクの早送りまたは早戻しをします。
- ▶II：再生または一時停止をします。
- X：タッチして消音機能のオンまたはオフを切り替えます。

5 インジケータ項目

- IN：ディスクの挿入状態
白色表示：ディスクが挿入されています。
オレンジ色表示：ディスクプレーヤーの不具合です。

VCD

- 1chLL/2chLL：チャンネル 1 または 2 のオーディオ (左) 出力中
- 1chRR/2chRR：チャンネル 1 または 2 のオーディオ (右) 出力中
- 1chST/2chST：チャンネル 1 または 2 のステレオオーディオ出力中
- LL：オーディオ (左) 出力中
- RR：オーディオ (右) 出力中
- ST：ステレオオーディオ出力中
- PBC:PBC 機能がオン
- VER1:VCD バージョン 1
- VER2:VCD バージョン 2

6 検索エリア

タッチすると、次 / 前のコンテンツを検索します。

7 キー表示エリア

タッチすると、コントロール画面を表示します。

8 [MENU CTRL] (DVD のみ)





タッチすると、メニューコントロール画面を表示します。**DVD ディスクメニューの操作 (P.22)** をご覧ください。

注意・補足

- 5 秒間操作されないとコントロール画面は消えます。

3 インフォメーション表示エリア

以下の情報を表示します。




- [非表示]: コントロール画面を隠します。
- : 再生中のコンテンツをリピートします。キーをタッチするたびに、以下の順でモードを切り替えます。
タイトルリピート ()、チャプターリピート ()、リピートオフ ()
- Title #、Chapter #: DVD タイトルとチャプター番号
- Audio 1 MAIN、ほか: オーディオ情報
- プログラム / プレイリスト: プログラム / プレイリストのどちらを再生しているかを表示します。

4 コンテンツリスト

画面の右側をタッチすると、コンテンツリストを表示します。もう一度タッチすると、リストが閉じます。

リストのプログラム / プレイリスト名をタッチすると、再生します。

5 操作キー

- Q: プログラムリストまたはプレイリストを表示します。**プログラムリスト / プレイリストの切り替え (P.20)**をご覧ください。
- : 前 / 次のコンテンツに切り替えます。タッチし続けると、ディスクの早送りまたは早戻しをします。
- : 再生または一時停止をします。
- : タッチして消音機能のオンまたはオフを切り替えます。

■ プログラムリスト / プレイリストの切り替え

- 1 Q をタッチする
▶ プログラムリストまたはプレイリストが表示されます。

- 2 ▼ をタッチする



- 3 表示するリストを選ぶ



注意・補足

- リスト画面の操作については、**リスト画面 (P.16)** をご覧ください。

■ 字幕 / 音声の切り替え

- 1 再生中に枠で囲まれたエリアをタッチする



- 2 各ボタンをタッチして操作する



■ 字幕を変更する

[字幕] をタッチするたびに、字幕のオンとオフが切り替わります。

■ 音声を変更する

[音声] をタッチするたびに、音声の Main (主音声)、Sub (副音声)、M+S (主音声+副音声) が切り替わります。

音楽 CD の基本操作

再生中の操作や各種設定は、ソースコントロール画面と再生画面から操作できます。

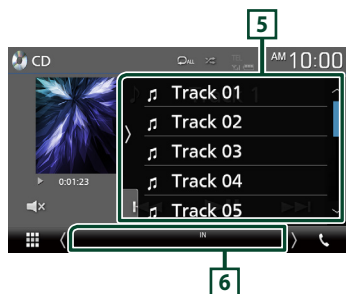
注意・補足

- この取扱説明書の「音楽 CD」とは、ミュージックトラックを含む CD を指します。

コントロール画面



コンテンツリスト



1 再生モードインジケータ / 再生時間

- ▶、▶▶、ほか：現在の再生モードが表示されます。

各アイコンの機能：

- ▶（再生）、▶▶（早送り）、◀◀（早戻し）、||（一時停止）

2 〇 / 〻

- 〇：再生中のトラックをリピートします。キーをタッチするたびに、以下の順でモードを切り替えます。
トラックをリピート（〇）、すべてをリピート（〇ALL）
- 〻：再生中のディスクのすべてのトラックをランダム再生します。キーをタッチするたびに、以下の順でモードを切り替えます。
ランダム再生（〻ALL）、ランダムオフ（〻OFF）

3 トラック情報

- 再生中のトラックの情報を表示します。

4 操作キー

- ◀◀ ▶▶：前 / 次のコンテンツに切り替えます。
タッチし続けると、ディスクの早送りまたは早戻しをします。
- ▶||：再生 / 一時停止します。
- 〻X：タッチして消音機能のオンまたはオフを切り替えます。

5 コンテンツリスト

画面の右側をタッチすると、コンテンツリストを表示します。もう一度タッチすると、リストが閉じます。

リストのトラックをタッチすると、再生します。

6 インジケータ項目

- IN：ディスクの挿入状態
白色表示：ディスクが挿入されています。
オレンジ色表示：ディスクプレーヤーの不具合です。

DVD ディスクメニューの操作

DVD ビデオに収録されているメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

1 再生中に枠で囲まれたエリアをタッチする



▶ メニューコントロール画面が表示されます。

2 各ボタンをタッチして操作する



- **トップメニューを表示する**
[**トップメニュー**] をタッチします。*
- **メニューを表示する**
[**メニュー**] をタッチします。*
- **前のメニューを表示する**
[**リターン**] をタッチします。*
- **選択した項目を決定する**
[**決定**] をタッチします。
- **ダイレクト操作を有効にする**
[**ダイレクト選択**] をタッチして、ダイレクト選択モードに変更します。(P.22)
- **カーソルを移動させる**
▲、▼、◀、▶ をタッチします。
- **字幕の言語を変更する**
[**字幕**] をタッチするたびに、字幕の言語が切り替わります。
- **音声の言語を変更する**
[**音声**] をタッチするたびに、音声の言語が切り替わります。

- **画像アングルを変更する**
[**アングル**] をタッチするたびに、画像アングルが切り替わります。

* これらのキーは、ディスクによっては機能しない場合があります。

ダイレクト選択

画面のメニューキーを直接タッチしてDVDメニューを操作できます。

1 メニューコントロール画面の [ダイレクト選択] をタッチする

2 操作したい項目をタッチする



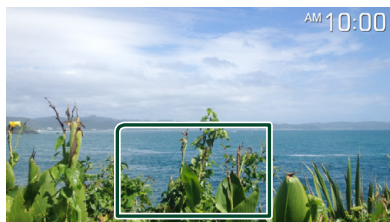
注意・補足

- ダイレクト選択は、所定時間操作されないと自動的にキャンセルされます。

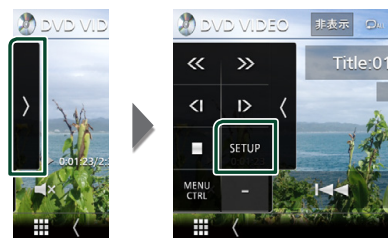
DVD 設定

DVD 再生に関する設定を行います。

1 再生中に枠で囲まれたエリアをタッチする



2 画面左側の [] をタッチし、[SETUP] をタッチする



▶ DVD 設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する



■ **[メニュー言語]/[字幕言語]/[音声言語]**
言語設定 (P.23) をご覧ください。

■ **[ダイナミックレンジコントロール]**
 DVD 音声のダイナミックレンジを設定します。
 ワイド→ノーマル→ダイアログの順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフなどは明確に聞き取れるようになります。

[ワイド]: 低い音量でも、パワフルな音声をフルダイナミックレンジで再生します。

[ノーマル]: ダイナミックレンジを [ワイド] より少し下げます。

[ダイアログ] (初期値): 映画のセリフなどをよりはっきりと再生します。Dolby Audio™ ソフトウェアの使用中にのみ有効です。

■ [アスペクト]

画面表示モードを設定します。

16:9 (初期値): ワイド映像を表示します。

4:3 LB: ワイド映像の上下に黒い帯を入れて表示します。

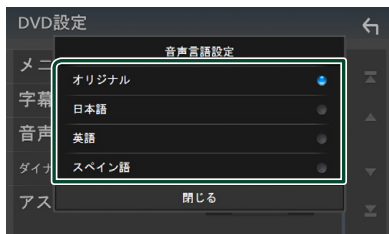
4:3 PS: ワイド映像の左右をカットして表示します。

言語設定

メニュー、字幕、音声の言語が設定できます。

1 [メニュー言語]、[字幕言語]、[音声言語] のいずれかをタッチする ▶ 言語設定画面が表示されます。

2 言語を選ぶ



言語コードについては、**言語コード (DVD 言語選択用) (P.63)** をご覧ください。

[閉じる] をタッチして言語を決定し、DVD 設定画面に戻ります。

注意・補足

- 音声言語を DVD のオリジナル言語に戻すには、[オリジナル] を選びます。

APPS

Apple CarPlay の操作

Apple CarPlay でよりスマートに、安全に iPhone を車で使用できます。運転中に iPhone で行いたい作業を Apple CarPlay が汲み取り、それらを画面に表示します。運転中でも道順を調べる、電話をかける、メッセージを送受信する、iPhone の音楽を聴くことができます。また、Siri の音声コントロールを使えば iPhone の操作がより簡単に行えます。

Apple CarPlay の詳細については、下記のサイトでご確認ください。

<https://www.apple.com/ios/carplay/>

使用可能な iPhone 端末

Apple CarPlay は以下の iPhone モデルで使用できます。

- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XR
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone X
- iPhone 8 Plus
- iPhone 8
- iPhone 7 Plus
- iPhone 7
- iPhone SE
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6s
- iPhone 6 Plus
- iPhone 6
- iPhone 5s
- iPhone 5c
- iPhone 5

ご利用の前に

1 iPhone と本機の USB 端子を、KCA-iP103 ケーブルで接続する (P.55)
すでに Bluetooth 接続中のスマートフォンがあった場合、iPhone を本機に接続した時点で、いままでのスマートフォンとの接続は解除されます。

2 iPhone のロックを解除する

操作ボタンと Apple CarPlay のホーム画面上の使用可能なアプリ

接続している iPhone のアプリは使用可能です。表示される項目と画面の言語は接続するデバイスによって異なります。

Apple CarPlay モードを開くには、ソース選択画面の **[Apple CarPlay]** アイコンを

24 タッチします。(P.14)



1 [HOME]

- Apple CarPlay のホーム画面を表示します。
- タッチし続けると、Siri が有効になります。

2 アプリボタン

アプリを起動します。

3 [HOME]

Apple CarPlay 画面を閉じ、ホーム画面を表示します。

Apple CarPlay 画面を閉じるには

1 [HOME] ボタンを押す

Siri を使う

Siri を起動できます。

1 [VOICE] ボタンを押す



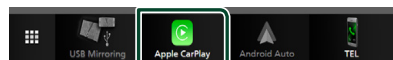
2 Siri に話しかける

別のソースの視聴中に Apple CarPlay 画面に切り替える

1 [HOME] ボタンを押す

▶ ホーム画面が表示されます。

2 [Apple CarPlay] をタッチする



注意・補足

- Apple CarPlay 画面が表示されているときに Apple CarPlay を使用して音が出ている場合、ソースが Apple CarPlay に切り替わっています。

Android Auto™ の操作

Android Auto を使用すると運転中に Android スマートフォンの機能を便利に使うことができます。道順を調べる、電話をかける、音楽を聴く、Android スマートフォンの便利な機能を使うなどが運転中でも簡単にできます。

Android Auto の詳細については、下記のサイトをご確認ください。

<https://www.android.com/auto/>

<https://support.google.com/androidauto>

使用可能な Android スマートフォン

Android Auto は、Android バージョンが 5.0 以降の Android スマートフォンで使用できます。

ご利用の前に

1 Android スマートフォンと本機の USB 端子を、USB ケーブルで接続する (P.55)

ハンズフリー機能を使用するには、Android スマートフォンを Bluetooth 経由で接続します。

すでに Bluetooth 接続中のスマートフォンがあった場合、Android スマートフォンを本機に接続した時点で、いままでのスマートフォンとの接続は解除されます。

2 Android スマートフォンのロックを解除する

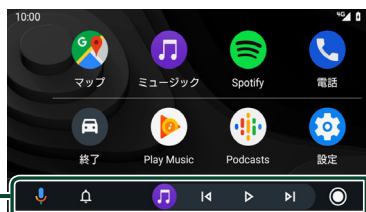
注意・補足

- Android Auto を使用するには、【モード】を [Android Auto] に設定する必要があります。(P.26)

操作ボタンと Android Auto 画面上の使用可能なアプリ

接続している Android スマートフォンのアプリの操作が行えます。画面に表示される項目は接続している Android スマートフォンによって異なる場合があります。

Android Auto モードを開くには、ソース選択画面の [Android Auto] アイコンをタッチします。(P.14)



1 アプリ / インフォメーションボタン

アプリを起動する、またはインフォメーションを表示します。

Android Auto 画面を閉じるには

1 [HOME] ボタンを押す

2 音声コントロールを使用する

1 [VOICE] ボタンを押す



キャンセルするには

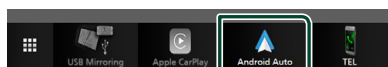
1 [VOICE] ボタンを押す

2 別のソースを再生中に Android Auto 画面に切り替える

1 [HOME] ボタンを押す

▶ ホーム画面が表示されます。

2 [Android Auto] をタッチする



注意・補足

- Android Auto 画面が表示されているときに Android Auto を使用して音が出ている場合、ソースが Android Auto に切り替わっています。

USB Mirroring の操作 (Android のみ)

スマートフォンが USB 端子に接続されている間は本機のアプリを表示・管理できます。

ご利用の前に

1 Google Play から Mirroring アプリをダウンロードする

「Mirroring OA for KENWOOD」というミラーリングアプリの最新バージョンを Android スマートフォンにインストールします。

2 スマートフォンを Bluetooth で本機とペアリングする

Bluetooth 機器の登録 (P.33) と **Bluetooth 機器を接続する (P.34)** をご覧ください。

デバイスモードを選択する

1 [MENU] ボタンを押す

▶ メニュー画面が表示されます。

2 をタッチする

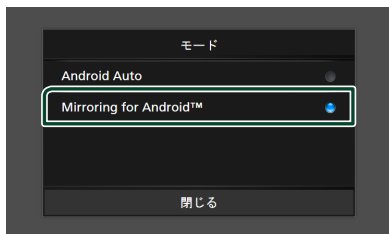
▶ 設定画面が表示されます。

3 [デバイス] をタッチする



4 [モード] をタッチする

5 [Mirroring for Android™] をタッチする



使用可能な Android スマートフォン

- Android バージョンが 7.0 以降
- Linux カーネルのバージョンが 3.5 以降
- Bluetooth 対応

注意・補足

- Android スマートフォンによっては本機で使用できない場合があります。

Android スマートフォンの接続

1 Android スマートフォンと本機の USB 端子を、USB ケーブルで接続する (P.55)

2 Android スマートフォンでミラーリングアプリを起動する

[OK] をタッチしてミラーリングアプリを起動します。

[今すぐ開始] をタッチして Android スマートフォンの画面のキャプチャーを開始します。

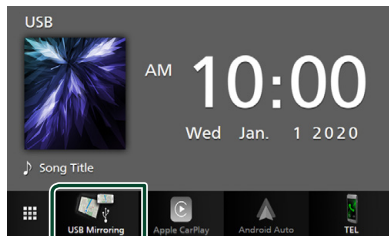
▶ ミラーリングが開始されます。

Mirroring OA の操作

1 本機にスマートフォンを接続し、ミラーリングアプリを起動する

2 [HOME] ボタンを押す

3 [USB Mirroring] をタッチする

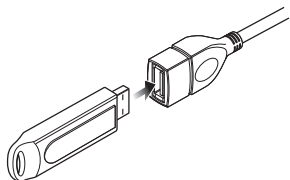


- 本機の画面に Android スマートフォンの画面を表示させることができます。

USB

USB 機器を接続する

- 1 USB 機器を USB ケーブルに接続する (P.54)



- 2 [HOME] ボタンを押す

- 3  をタッチする

- 4 [USB] をタッチする (P.14)

USB 機器を取り外す

- 1 [HOME] ボタンを押す

- 2  をタッチする

- 3 [USB] 以外のソースをタッチする

- 4 USB 機器を取り外す

使用可能な USB 機器

マストレージクラス USB 機器を本機で使用できます。

この取扱説明書の「USB 機器」とは、フラッシュメモリー機器を指します。

● ファイルシステムについて

以下のファイルシステムのみ使用できます。

- FAT16
- FAT32
- exFAT

注意・補足

- USB 機器は、運転に支障のない場所に設置してください。
- USB 機器は、USB ハブ、マルチカードリーダー経由では接続できません。
- 本機で使用するオーディオファイルはバックアップを取っておいてください。USB 機器の動作状況によりファイルが消去されることがあります。消去されたデータにより生じる損害について、弊社は一切の補償をいたしません。

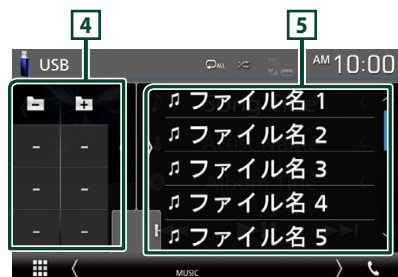
USB の基本操作

再生中の操作や各種設定は、ソースコントロール画面と再生画面から操作できます。








コントロール画面



ファイルリスト










1  / 

-  :再生中のファイル/フォルダをリピートします。キーをタッチするたびに、以下の順でモードを切り替えます。ファイルリピート()、フォルダリピート()、すべてをリピート()
-  :再生中のフォルダのすべてのファイルをランダム再生します。キーをタッチするたびに、以下の順でモードを切り替えます。ファイルをランダム再生()、ランダム再生をオフ()

2 ファイル情報



再生中のファイルの情報を表示します。タグ情報がない場合は、ファイル名とフォルダ名のみが表示されます。

3 操作キー

-  : ファイルを検索します。検索操作については、**検索操作 (P.29)** をご覧ください。
-   : 前/次のファイルを検索します。タッチし続けると、早送りまたは早戻しします。
-   : 再生または一時停止します。
-   : タッチして消音機能のオンまたはオフを切り替えます。

4 ファンクションパネル

画面の左側をタッチすると、ファンクションパネルを表示します。もう一度タッチすると、パネルが閉じます。

-   : 前/次のフォルダを検索します。
- **[アスペクト]**(ビデオの再生中のみ): 画面モードを選びます。
[フル]: 映像のアスペクト比をフルサイズに変更します。
[レギュラー]: 4:3 の比率で表示します。
[オート]: 比率は変えず、映像を縦方向または横方向でフル表示します。

5 コンテンツリスト

画面の右側をタッチすると、コンテンツリストを表示します。もう一度タッチすると、リストが閉じます。



リストのファイル名をタッチすると、再生します。

6 インジケータ項目

- **VIDEO**: ビデオファイルを再生中
- **MUSIC**: ミュージックファイルを再生中

7 アートワーク / 再生モードインジケータ / 再生時間

現在再生中のファイルのジャケット写真が表示されます。

- 、、ほか: 現在の再生モードが表示されます。各アイコンの機能:
▶ (再生)、▶▶ (早送り)、◀◀ (早戻し)、|| (一時停止)

ビデオ画面

**8** 検索ファイルエリア (ビデオファイルのみ)

タッチすると、次/前のファイルを検索します。

9 キー表示エリア (ビデオファイルのみ)

タッチすると、コントロール画面を表示します。

検索操作

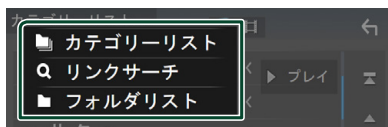
ミュージックまたはビデオファイルを以下の操作で検索できます。

1 **Q** をタッチする

2 **▼** をタッチする



3 リストの種類を選ぶ



注意・補足

- ・リスト画面の操作については、**リスト画面 (P.16)** をご覧ください。

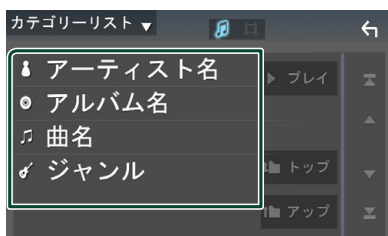
■ カテゴリーサーチ

カテゴリーを選んでファイルを検索できます。

1 **[カテゴリーリスト]** をタッチする

2 オーディオファイルを検索する場合は **🎵** をタッチする

3 カテゴリーをタッチする



- ▶ 選んだカテゴリーのリストが表示されます。

4 再生するファイルを選ぶ

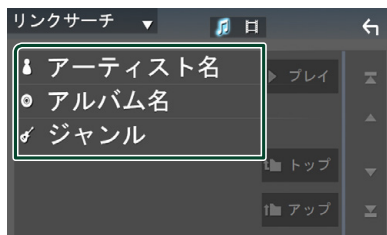
■ リンクサーチ

再生中のファイルと同じアーティスト/アルバム/ジャンルのファイルを検索できません。

1 **[リンクサーチ]** をタッチする

2 タグタイプを選ぶ

アーティスト名、アルバム名、ジャンルから選べます。



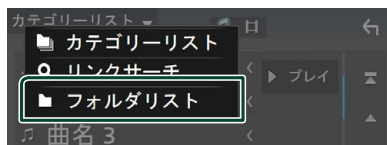
- ▶ 選んだ条件で検索したリストが表示されます。

3 再生するファイルを選ぶ

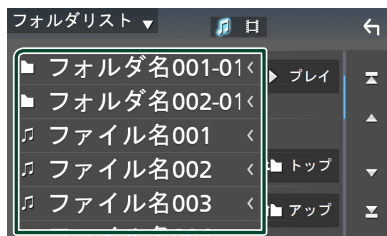
■ フォルダサーチ

リストの優先順位に従ってファイルを検索できます。

1 **[フォルダリスト]** をタッチする



2 フォルダを選ぶ



- ▶ 選んだフォルダの内容が表示されます。

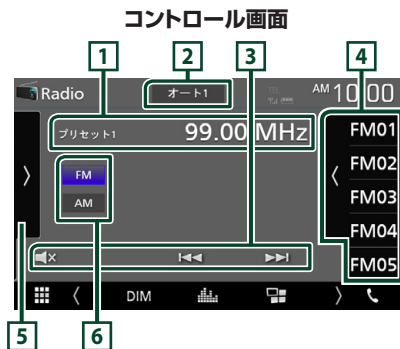
3 再生するファイルを選ぶ

ラジオ

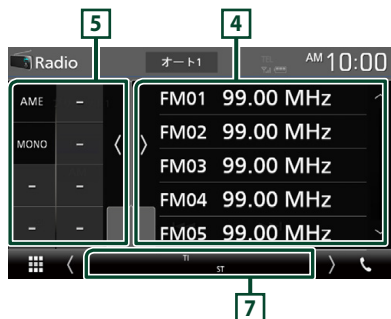
ラジオの基本操作

再生中の操作や各種設定は、ソースコントロール画面から操作できます。

Radio ソースを開くには、ソース選択画面の **[Radio]** アイコンをタッチします。
(P.14)



ファンクションパネルとプリセットリスト



1 インフォメーション表示

受信中の放送局の周波数を表示します。
プリセット#: プリセット番号

2 選局モード

キーをタッチするたびに、以下の順で選局モードを切り替えます。

[オート1]、**[オート2]**、**[マニュアル]**

- **[オート1]**: 受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
- **[オート2]**: 記憶している放送局を順に受信します。
- **[マニュアル]**: 手で周波数を切り替えます。

3 操作キー

- **◀▶**: 放送局を受信します。周波数の切り替え方法は変更できません (2の選局モードを参照)。
- **🔇**: タッチして消音機能のオンまたはオフを切り替えます。

4 プリセットリスト

- 画面の右側をタッチすると、プリセットリストを表示します。もう一度タッチすると、リストが閉じます。
- プリセットした放送局を呼び出します。
- 2秒間タッチすると、受信中の放送局をプリセットします。

5 ファンクションパネル

画面の左側をタッチすると、ファンクションパネルを表示します。もう一度タッチすると、パネルが閉じます。

- **[AME]**: オートプリセットを設定します。詳細については、**オートプリセット (P.31)** をご覧ください。
- **[MONO]** (FMのみ): FMの受信状態を良くするために、モノラルモードを有効にします (ステレオ効果は失われます)。キーをタッチするたびに、有効と無効が切り替わります。

6 [FM] [AM]

FM または AM を切り替えます。

7 インジケータ項目

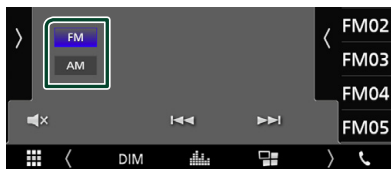
- **ST**: FM ステレオ放送を十分な電波強度で受信しているときに表示します。
- **MONO**: モノラルモードが有効なときに表示します。

プリセットの操作

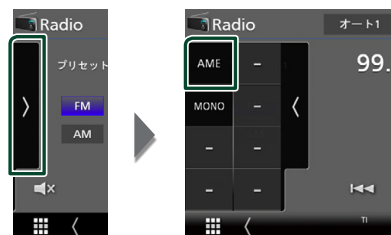
オートプリセット

受信状態のよい放送局を自動的にプリセットできます。

1 [FM] または [AM] をタッチする



2 画面左側の [プリセット] をタッチし、[AME] をタッチする



▶ 確認画面が表示されます。

3 [はい] をタッチする

▶ オートプリセットを開始します。

手動プリセット

受信中の放送局をプリセットできます。

1 プリセットしたい放送局を選ぶ

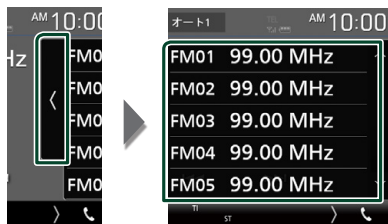
2 [FM#] (#: 1-24) または [AM#] (#: 1-12) のプリセットしたい放送局を 2 秒間タッチする

選択操作

プリセットの選択

プリセットした放送局をリスト表示し選択できます。

1 画面右側の [プリセット] をタッチし、リストから放送局を選ぶ



Bluetooth

Bluetooth 機能を使用して、音楽を聴く、電話をかける / 受けるなど、様々な機能が使用できます。

Bluetooth[®] 機器の使用に関する情報

Bluetooth[®]

Bluetooth は、携帯電話、ポータブル PC などのモバイル機器で使用する、近距離での無線通信技術です。

Bluetooth 機器はケーブルなしで接続でき、双方向の通信ができます。

注意・補足

- 運転中は、電話をかける、電話帳を使用するなどの複雑な操作を行わないでください。これらの操作を行う際には、安全な場所に停車してください。
- 機器の Bluetooth バージョンによっては、本機と接続できない場合があります。
- Bluetooth 機器によっては、本機で使用できない場合があります。
- 接続条件は、ご使用の環境によって異なります。
- 本機の電源をオフにすると、Bluetooth 機器によっては接続が解除される場合があります。

携帯電話と Bluetooth オーディオプレーヤーについて

本機は以下の Bluetooth 仕様に対応しています。

バージョン

Bluetooth Ver. 4.1

プロファイル

携帯電話：

HFP (Hands Free Profile)

SPP (Serial Port Profile)

PBAP (Phonebook Access Profile)

オーディオプレーヤー：

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

音声コーデック

SBC、AAC

注意・補足

- 本機は Bluetooth 機能に対応しており、Bluetooth SIG が規定する手順に従って Bluetooth 基準に準拠していることが認められています。
- ただし、機種によっては通信が行えない携帯電話もあります。

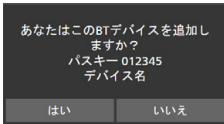
Bluetooth 機器の登録

Bluetooth オーディオプレーヤーまたは携帯電話を使用するために、本機に Bluetooth 機器を登録します。
Bluetooth 機器は 7 台まで登録できます。

注意・補足

- 最大 7 台の Bluetooth 機器が登録できません。8 台目の Bluetooth 機器を登録しようとする、最初に接続した Bluetooth 機器が削除され 8 台目に登録しようとした Bluetooth 機器が登録されます。

- 1 スマートフォン / 携帯電話の Bluetooth 機能をオンにする
- 2 スマートフォン / 携帯電話で本機 (「DDX*****」) を探す
- 3 表示されたメッセージに従ってスマートフォン / 携帯電話を操作する
 - スマートフォン / 携帯電話のリクエストを承認する




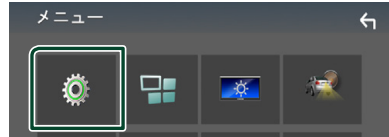
- PIN コードを要求された場合は、PIN コード (「0000」) を入力する

4 [はい] をタッチする

データ送信および接続が完了すると、Bluetooth 接続アイコンが画面に表示されます。

Bluetooth 設定

- 1 [MENU] ボタンを押す
 - ▶ メニュー画面が表示されます。
- 2  をタッチする



- ▶ 設定画面が表示されます。

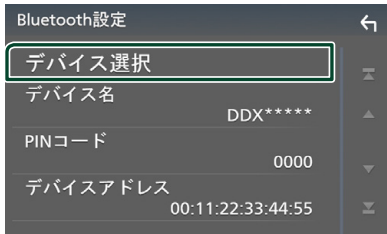
3 [Bluetooth] をタッチする



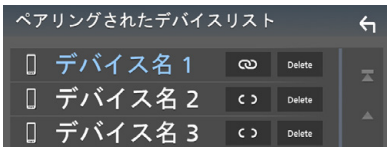
- ▶ Bluetooth 設定画面が表示されます。設定については下記をご覧ください。
- Bluetooth 機器を接続する (P.34)

Bluetooth 機器を接続する

1 Bluetooth 設定画面で [デバイス選択] をタッチする



2 接続したいデバイスの [>] をタッチする

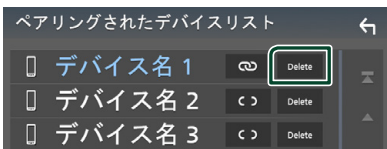


注意・補足

- 本機でその機器が使用できるようになるとアイコンが明るくなります。

登録した Bluetooth 機器を削除する

1 [Delete] をタッチする



- ▶ 確認画面が表示されます。

2 [はい] をタッチする

Bluetooth オーディオ機器を再生する

再生中の操作や各種設定は、ソースコントロール画面から操作できます。

Bluetooth ソースを開くには、ソース選択画面の [Bluetooth] アイコンをタッチします。(P.14)

Bluetooth の基本操作

コントロール画面



1 デバイス名 / [再生] / [オフ]

- 接続中のデバイス名が表示されます。
- [再生] : 再生中のファイル / フォルダをリピートします。キーをタッチするたびに、以下の順でモードを切り替えます。ファイルリピート ([再生]), フォルダリピート ([再生]), 全曲をリピート ([ALL]), リピートオフ ([再生])
- [オフ] : 再生中のフォルダのすべてのファイルをランダム再生します。キーをタッチするたびに、以下の順でモードを切り替えます。すべてをランダム再生 ([ランダム]), ランダムオフ ([再生])
- 接続されたデバイスによって操作や表示画面が異なる場合があります。

2 インフォメーション表示 *

ファイルの情報を表示します。

3 操作キー *

- **Q**: ファイルを検索します。**ファイルサーチ (P.35)** をご覧ください。
- **◀▶**: 前 / 次のコンテンツを検索します。タッチし続けると、早送りまたは早戻しします。
- **▶**: 再生します。
- **⏸**: 一時停止します。
- **🔊**: タッチして消音機能のオンまたはオフを切り替えます。

4 ファンクションパネル

画面の左側をタッチすると、ファンクションパネルを表示します。もう一度タッチすると、パネルが閉じます。

- **[BT DEVICE CHANGE]**: Bluetooth オーディオ (A2DP) またはアプリ (SPP) 経由で接続するデバイスを選びます。**Bluetooth オーディオを接続する (P.35)** をご覧ください。

5 再生モードインジケータ / 再生時間

▶、⏸: 現在の再生モードが表示されます。各アイコンの機能:

- ▶ (再生)、▶▶ (早送り)、◀◀ (早戻し)、⏸ (一時停止)

* これらの項目は、AVRCP プロファイルに対応するオーディオプレーヤーが接続されている場合にのみ表示されます。

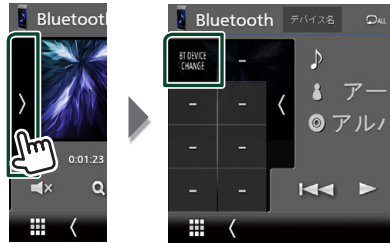
注意・補足

- 操作キーが表示されない場合は、プレーヤーで操作してください。
- 携帯電話またはオーディオプレーヤーによっては、音声が聞こえ、操作できても、テキストインフォメーションは表示されない場合があります。
- 音量が小さすぎる場合は、携帯電話またはオーディオプレーヤーで調節してください。

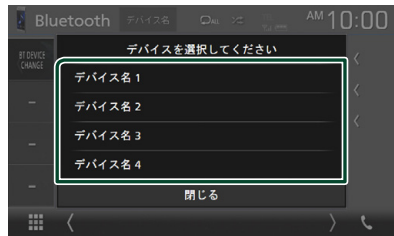
Bluetooth オーディオを接続する

Bluetooth オーディオ (A2DP) またはアプリ (SPP) 経由で接続する機器を選びます。

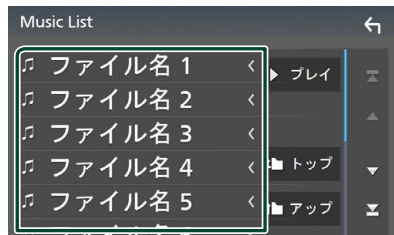
- 1 画面左側の **[BT DEVICE CHANGE]** をタッチし、**[BT DEVICE CHANGE]** をタッチする



- 2 接続したいデバイス名をタッチする

**ファイルサーチ**

- 1 **Q** をタッチする
- 2 ファイルまたはフォルダを選ぶ



- ▶ 選んだフォルダの内容が表示されます。

- 3 再生するファイルを選ぶ

- ▶ 再生が始まります。

注意・補足

- リスト画面の操作については、**リスト画面 (P.16)** をご覧ください。

Bluetooth 電話を使用する

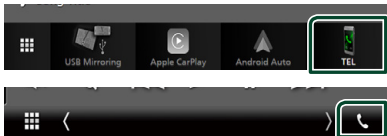
本機に Bluetooth 電話を接続して電話機能が使用できます。

注意・補足

- Apple CarPlay または Android Auto が接続されていると、Bluetooth ハンズフリー機能は使用できません。Apple CarPlay または Android Auto のハンズフリー機能のみが使用できます。

電話をかける

- 1 ホーム画面で [TEL] またはサブメニューで をタッチする



▶ 電話画面が表示されます。

注意・補足

- PBAP に対応している携帯電話の場合、携帯電話が接続されていれば本機の画面に電話帳と呼び出しリストを表示できます。
 - 電話帳：最大 1,000 件
 - 発信履歴、着信履歴、不在着信：合計 20 件まで

2 発信方法を選ぶ



- : 通話履歴を使用して発信
- : 電話帳を使用して発信
- : プリセットリストを使用して発信
- : 番号を直接入力して発信
- : 音声認識 (P.37)
- : Bluetooth 設定

● Bluetooth 設定

- 1) をタッチする
Bluetooth 設定画面が表示されます。

注意・補足

- バッテリーやアンテナ表示などのステータスアイコンは、表示される携帯電話によって異なる場合があります。
- 携帯電話がプライベートモードに設定されていると、ハンズフリー機能が無効になることがあります。

通話履歴を使用して発信する

- 1 をタッチする
- 2 リストから電話をかけたい相手を選ぶ




番号を直接入力して発信する

- 1 をタッチする
- 2 テンキーで電話番号を入力する




- 3 をタッチする

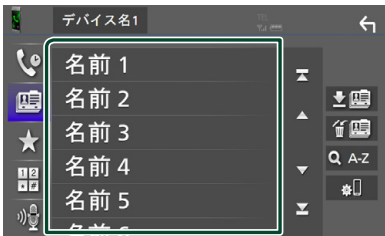
プリセットリストを使用して発信する

- 1  をタッチする
- 2 名前または電話番号をタッチする



電話帳を使用して発信する

- 1  をタッチする
- 2 リストから電話をかけたい相手を選ぶ



- 3 リストから電話番号を選ぶ



注意・補足

- 電話帳がダウンロードされていない場合は、**[今すぐ電話帳をダウンロード]** をタッチすると、電話帳のダウンロードが始まります。

音声認識機能を利用する

本機に接続している携帯電話の音声認識機能を利用して、音声で携帯電話の電話帳から検索することができます（携帯電話によって機能は異なります）。


- 1 **[VOICE]** ボタンを押す





> 音声認識画面が表示されます。

- 2 発声する

注意・補足

- 電話画面の  をタッチして、音声認識機能を使用することもできます。

電話を受ける


- 1  をタッチして電話に出るか、または  をタッチして応答を拒否する



注意・補足

- リアビューカメラの映像を表示していると、着信があっても画面は変わりません。この画面を表示するには、車のシフトギアをドライブ (D) に戻します。

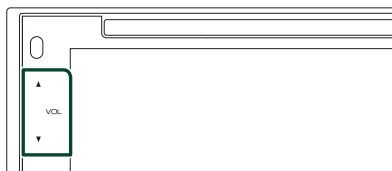
通話を終了するには

- 1  をタッチする

■ 通話中の操作



- 通話音量を調節する
▼ または ▲ ボタンを押します。



- 発信音（トーン信号）の送出
[トーン] をタッチして、発信音入力画面を表示します。
画面のキーをタッチすると、発信音（トーン信号）が送出されます。
- 通話音声の出力を切り替える
📱 / 📢 をタッチするたびに、通話音声出力が携帯電話・スピーカーで切り替わります。

- 保留にする
通話中に新たに着信があった場合、📞 をタッチすると、新たな着信に応答できます。現在の通話は保留になります。
🔒 をタッチするたびに、通話が切り替わります。
📞 をタッチすると、通話中の着信を終了し、保留になっていた通話に戻ります。

■ 電話番号プリセット

本機に頻繁に使用する電話番号を登録できます。

- 1 ★ をタッチする
- 2 [編集] をタッチする

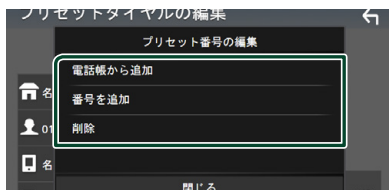


- 3 登録する場所を選ぶ



- [すべて削除]
すべての電話番号を削除するには、[すべて削除] をタッチしたあと、確認画面で [はい] をタッチします。

- 4 プリセット方法を選ぶ




- [電話帳から追加]
電話帳から登録する番号を選びます。**電話帳を使用して発信する (P.37)** をご覧ください。
- [番号を追加]
電話番号を直接入力し、[セット] をタッチします。**番号を直接入力して発信する (P.36)** をご覧ください。


■ [削除]

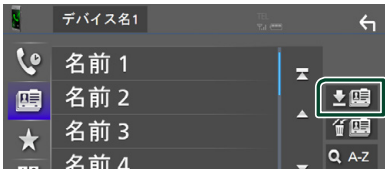
登録した電話番号を削除するには、**[削除]** をタッチしたあと、確認画面で **[はい]** をタッチします。

📁 電話帳の転送

PBAP 経由で Bluetooth スマートフォンの電話帳を本機に転送することができます。

1  をタッチする

2  をタッチする




▶ 電話帳データの転送が始まります。

注意・補足

- 電話帳に 1,000 件以上の電話番号が登録されている場合、電話帳データは転送されません。

電話帳の削除

1  をタッチする

▶ 確認画面が表示されます。

2 **[はい]** をタッチする

その他の外部機器


リアビューカメラ

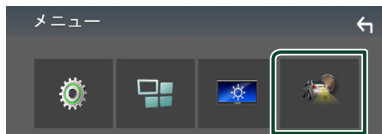
注意・補足

- ・リアビューカメラの接続は、54 ページをご覧ください。
- ・リアビューカメラを使用するには、リバース検出コード (REVERSE) の接続が必要です。(P.54)
- ・Rear Camera 画面は、シフトギアをリバース (R) に入れると表示されます。

■ Rear Camera (リアビューカメラ) 画面を表示する

1 [MENU] ボタンを押す
▶ メニュー画面が表示されます。

2  をタッチする



▶ Rear Camera 画面が表示されます。

3 リアビューカメラの設定を行う




1 Camera 画面を終了する

メニュー画面に戻ります。

■ Camera 設定

1 [MENU] ボタンを押す
▶ メニュー画面が表示されます。

2  をタッチする
▶ 設定画面が表示されます。

3 [Camera] をタッチする



▶ Camera 画面が表示されます。

4 各項目を設定する

■ [駐車ガイドライン]

シフトギアをリバース (R) に入れている際に、パーキングガイド線を表示すると駐車をより簡単に行えます。
初期値 “ON”


■ [パーキングガイド線設定]

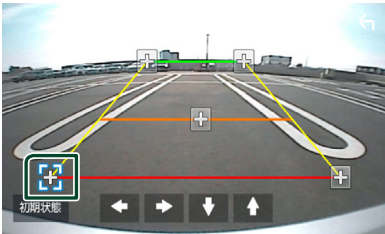
[駐車ガイドライン] で [ON] を設定し、パーキングガイド線を調整します。パーキングガイド線の調整 (P.41) をご覧ください。

パーキングガイド線の調整

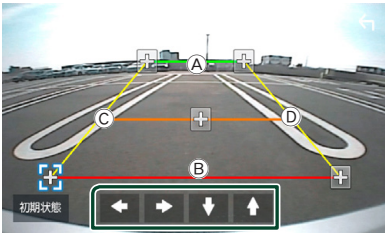
注意・補足

- ・リアビューカメラと同梱されている説明書に従って、正しい位置にリアビューカメラを取り付けてください。
- ・パーキングガイド線の調整中は、サイドブレーキをかけ、車が動かないようにしてください。

- 1 Camera 画面で [駐車ガイドライン] を [ON] に設定する (P.40)
- 2 Camera 画面で [パーキングガイド線設定] をタッチする
- 3 調整したい位置の  マークを選ぶ




- 4 移動したい方向の矢印アイコンをタッチする



(A) と (B) は水平かつ平行で、(C) と (D) は同じ長さになっていることを、必ず確認してください

注意・補足

- ・  マークを初期状態に戻すには、[初期状態] をタッチし、確認画面で [はい] をタッチします。

外部オーディオ / ビデオプレーヤー — AV-IN

- 1 外部機器を AV-IN 入力端子に接続する (P.54)
- 2 ソース選択画面で [AV-IN] アイコンをタッチする (P.14)
- 3 接続した外部機器の電源をオンにし、ソースの再生を開始する

設定

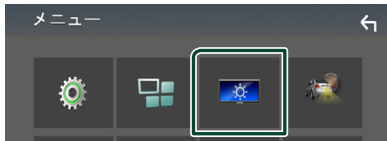
画像調整

ビデオ画面で画質を調整できます。

1 [MENU] ボタンを押す

▶ メニュー画面が表示されます。

2 をタッチする



▶ 画像調整画面が表示されます。

3 各項目を調整する



■ **[コントラスト]** / **[明るさ]** / **[色の濃さ]** / **[色合い]**

[+]または[-]をタッチして、各項目を調整します。

注意・補足

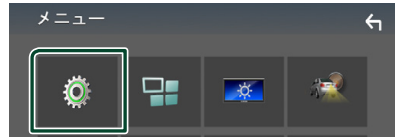
- 調整できる項目は、再生中のソースによって異なります。

システム設定

1 [MENU] ボタンを押す

▶ メニュー画面が表示されます。

2 をタッチする



▶ 設定については、それぞれのページをご覧ください。

- AV 機器関連の設定画面 (P.45)
- 画面関連の設定画面 (P.44)
- ユーザーインターフェース関連の設定画面 (P.43)
- カメラ関連の設定画面 (P.40)
- その他の設定、確認画面 (P.43)
- Bluetooth 設定画面 (P.33)
- デバイスの選択 (P.26)

ユーザーインターフェース設定

キータッチトーンや表示言語、時計などを設定します。

1 [MENU] ボタンを押す

▶ メニュー画面が表示されます。

2 をタッチする

▶ 設定画面が表示されます。

3 [ユーザーインターフェース] をタッチする



▶ ユーザーインターフェース画面が表示されます。

4 各項目を設定する

■ [操作音]

キータッチトーンをオンまたはオフにします。

初期値：“OFF”

■ [言語]

メニューなどの表示言語を選びます。

■ [時間形式]

時刻表示のフォーマットを選びます。

“12 時間” (初期値)/ “24 時間”

■ [時計調整]

日付と時刻を手動で調整します。

(P.11)

Special 設定

本機の店頭デモモードのオン・オフ切り替え、ソフトウェアのバージョン確認などができます。

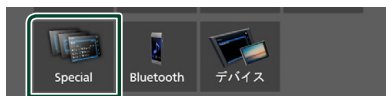
1 [MENU] ボタンを押す

▶ メニュー画面が表示されます。

2 をタッチする

▶ 設定画面が表示されます。

3 [Special] をタッチする



▶ Special 画面が表示されます。

4 各項目を設定・確認する

■ [店頭デモ]

デモンストレーションモードを設定します。

初期値：“ON”

■ [ソフトウェア情報]

本機のソフトウェアのバージョンを確認します。(P.43)

■ [オープンソースライセンス]

オープンソースライセンスを表示します。

■ [初期状態]

本機の各種設定を初期状態に戻します。

[初期状態] をタッチし、確認画面で

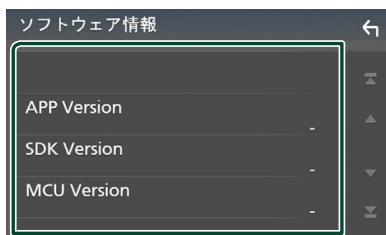
[はい] をタッチします。

ソフトウェア情報

本機のソフトウェアのバージョンを確認します。

1 Special 画面で [ソフトウェア情報] をタッチする

2 ソフトウェアのバージョンを確認する



画面設定

1 [MENU] ボタンを押す

▶ メニュー画面が表示されます。

2 をタッチする

▶ 設定画面が表示されます。

3 [画面] をタッチする



▶ 画面の設定画面が表示されます。

4 各項目を設定する

■ [ディマー]

ディマー（自動輝度設定）モードを選びます。

OFF: ディマーを無効にします

ON: ディマーを有効にします

オート（初期値）: 車両のライトスイッチに連動します。

■ [OSD 時計]

DVD などの視聴中に時計を表示させたい場合は ON に設定します。

“ON”（初期値）/ “OFF”

■ [画像調整]

画像調整画面を表示します。（P.42）

■ [背景画像]

背景画像を変更します。（P.44）

■ 背景画像を変更する

1 画面の設定画面で [背景画像] をタッチする

2 画像を選ぶ



*1 事前にオリジナル画像を登録しておきます。

オリジナル画像を登録するには

接続した USB 機器から画像を読み込み背景画像に設定できます。

1 登録したい画像が入った USB 機器を本機に接続する

2 背景画像画面で [ユーザー 1 選択] または [ユーザー 2 選択] をタッチする

3 登録する画像を選ぶ





4 [決定] をタッチする



▶ 選んだ画像が読み込まれ、背景画像画面に戻ります。

注意・補足

-  をタッチ：画像が反時計回りに回転
-  をタッチ：画像が時計回りに回転
- 指定できる画像ファイル：JPEG (.jpg、.jpeg)、PNG (.png)、BMP (.bmp)

AV 機器の設定

AV 機器の設定が行えます。

1 [MENU] ボタンを押す

▶ メニュー画面が表示されます。

2 をタッチする

▶ 設定画面が表示されます。

3 [AV] をタッチする



▶ AV 画面が表示されます。

4 各項目を設定する

■ [AV-OUT]

本機で再生中の動画を VIDEO OUT 端子から出力するかどうかを設定します。

“ON” / “OFF”（初期値）

注意・補足

- AV IN、USB（ビデオファイル）、ディスク（DVD）ソースからのみ画像の出力が可能です。
- AV IN ソースの再生中、リアビューカメラの表示が選択されている場合、VIDEO OUT 端子からは映像が出力されません。

■ [CarPlay サイドバー]

タッチパネルに表示されるコントロールバー（右または左）の位置を選びます。

“左” / “右”（初期値）

注意・補足

- iPhone が接続されていないときのみ設定できます。

■ [AV カラー調整]

ビデオ画面で画質を調整します。

(P.42)


注意・補足

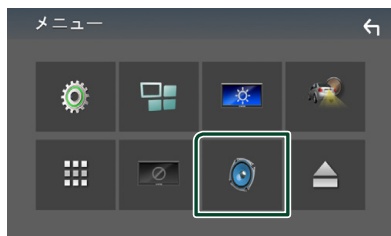
- 調整できる項目は、再生中のソースによって異なります。

オーディオ設定

オーディオバランスやサブウーファーレベルなどの様々な設定を調整できます。

- 1 [MENU] ボタンを押す
 ▶ メニュー画面が表示されます。


- 2  をタッチする



- ▶ 設定については、それぞれのページをご覧ください。
- スピーカー / クロスオーバー設定 (P.46)
- イコライザー調整 (P.48)
- リスニングポジション / タイムアライメント設定 (P.50)
- オーディオの基本設定 (フェダー / バランス) (P.47)
- ソースレベル調整 (P.49)
- サウンドエフェクト設定 (P.49)

スピーカー / クロスオーバー設定

- 1 [MENU] ボタンを押す
 ▶ メニュー画面が表示されます。

- 2  をタッチする
 ▶ オーディオ画面が表示されます。

- 3 [スピーカー / クロスオーバー] をタッチする



- 4 車両タイプ (車種やスピーカーネットワークなど) を選ぶ

車種が選択されている場合、ディレイタイムアライメントを設定して (各チャンネルのサウンド出力のタイミングの調整) 自動的に最高のサラウンドエフェクトを実現します。



- 5 調整したいスピーカー (①) にタッチし、各項目 (②) を設定する



■ [スピーカー]
 スピーカーのタイプと大きさを選択し、最適なサウンドエフェクトを作成できます。スピーカーのタイプと大きさを設定すると、スピーカーのクロスオーバーネットワークが自動的に設定されます。

■ [場所] (フロント、リアのみ)
 調整したいスピーカーポジションを選択します。

■ [ツイーター] (フロントのみ)

フロントスピーカーを選択している場合、ツイーターの設定ができます。

“なし”、“Small”、“Medium”、“Large”

■ [クロスオーバー]

スピーカーのクロスオーバー設定画面が表示されます。

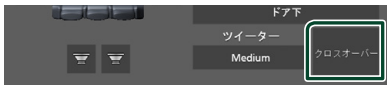
スピーカーのタイプを選択した際に自動的に設定されたクロスオーバー設定を調整できます。

詳細については、**クロスオーバーネットワーク設定 (P.47)** をご覧ください。

■ クロスオーバーネットワーク設定

スピーカーのクロスオーバー周波数の設定ができます。

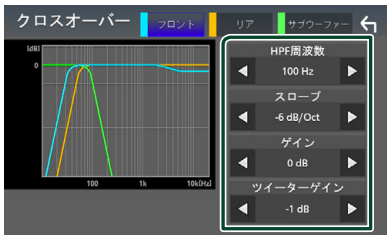
1 [クロスオーバー] をタッチする



2 設定するスピーカーをタッチする



3 各項目を設定する



■ [HPF 周波数]

手順2でフロントまたはリアスピーカーを選び、ハイパスフィルターを調整します。

■ [LPF 周波数]

手順2でサブウーファーを選び、ローパスフィルターを調整します。

■ [スロープ]*¹

クロスオーバーのスロープを設定します。

■ [ゲイン]

フロントスピーカー、リアスピーカー、サブウーファーレベルを調整します。

■ [ツイーターゲイン]*²

手順2でフロントを選び、ツイーターレベルを調整します。

■ [位相反転]

手順2でサブウーファーを選び、サブウーファー出力の位相を設定します。

[位相反転]を確認し、位相を180度移動させます。

*¹ クロスオーバー画面の“LPF 周波数” / “HPF 周波数”で“スルー”以外を設定した場合のみ調整できます。

*² スピーカー選択画面の“ツイーター”で“Small”、“Medium”、“Large”を設定した場合のみ調整できます。

オーディオの基本設定 (フェダー/バランス)

1 [MENU] ボタンを押す

▶ メニュー画面が表示されます。

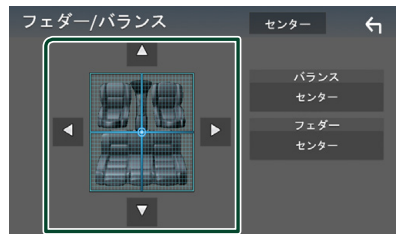
2 をタッチする

▶ オーディオ画面が表示されます。

3 [フェダー/バランス] をタッチする



4 各項目を設定する



■ [センター]

調節した設定をセンターに戻します。

■ [バランス] / [フェダー]

タッチしたエリア周囲のボリュームバランスを設定します。

◀ または ▶ : 左右の音量バランス

▲ または ▼ : 前後の音量バランス

イコライザー調整

再生ソースごとにイコライザーを調整できます。調整したイコライザーカーブを保存することもできます。

1 [MENU] ボタンを押す

- ▶ メニュー画面が表示されます。

2 をタッチする

- ▶ オーディオ画面が表示されます。

3 [イコライザー] をタッチする



4 画面をタッチして、グラフィックイコライザーを設定する



■ [オールソース]

調整したイコライザーをすべての再生ソースに適用します。[オールソース]をタッチし、確認画面で[OK]をタッチします。

■ ゲインレベル (点線の枠内)

各周波数帯をタッチしてゲインレベルを調整します。

周波数帯を選択し、レベルを ▲ と ▼ で調整できます。

■ [プリセット選択]

イコライザーカーブを呼び出す画面を表示します。

■ [初期化]

現在のイコライザーカーブがフラットに戻ります。

■ [メモリ]

「User1」から「User3」に、調整したイコライザーカーブを保存します。

■ [Bass EXT] (Bass Extend Settings)

“ON” に設定しているとき、62.5Hz より低い周波数は 62.5Hz と同じゲインレベルに設定されます。

■ [SW レベル]

サブウーファーボリュームを調整します。

イコライザーカーブを呼び出す

1 [プリセット選択] をタッチする

2 イコライザーカーブを選ぶ

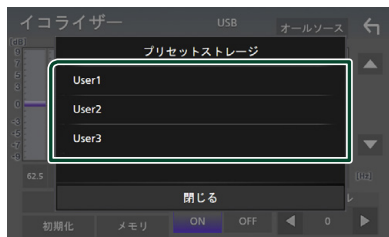


イコライザーカーブを保存する

1 イコライザーカーブを調整する

2 [メモリ] をタッチする

3 保存場所を選ぶ



ソースレベル調整

各ソースの自動音量レベルを微調整して、ソース間の音量の差を最小限に抑えます。

1 [MENU] ボタンを押す

▶ メニュー画面が表示されます。

2 をタッチする

▶ オーディオ画面が表示されます。

3 [ソースレベル] をタッチする



4 [+] または [-] をタッチして、各ソースの自動音量レベルを微調整する



■ [初期化]

初期設定に戻ります。

注意・補足

- 先に音量を大きくし、その後「ソースレベル」で音量を小さくした場合、急に別のソースに切り替えると、音量が非常に大きくなる場合があります。

サウンドエフェクト設定

音響効果を調整します。

1 [MENU] ボタンを押す

▶ メニュー画面が表示されます。

2 をタッチする

▶ オーディオ画面が表示されます。

3 [サウンドエフェクト] をタッチする



4 各項目を設定する



■ [バスブースト]

低音強調のレベルを設定します。

“OFF” / “1” / “2” / “3”


■ [ラウドネス]

小音量時でも音楽的な周波数バランスが保たれて聞こえるように、低音と高音を補います。

“OFF”、“Low”、“High”

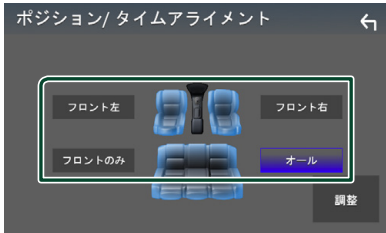
リスニングポジション/ タイムアライメント設定

設定した座席に近いスピーカーほど音の出るタイミングを遅らせる（ディレイ）ことで、各スピーカーからの音が同時に聞こえるように調整します。

- 1 [MENU] ボタンを押す
▶ メニュー画面が表示されます。
- 2  をタッチする
▶ オーディオ画面が表示されます。
- 3 [ポジション/タイムアライメント] をタッチする



- 4 [フロント右]、[フロント左]、
[フロントのみ]または[オール]から、
リスニングポジションを選ぶ



- 5 [調整] をタッチする
- 6 [ディレイ] をタッチする
- 7 各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして、実際に測った距離を設定する



- 8 [レベル] をタッチする

- 9 各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして、音を聞きながら調整する



注意・補足

- 設定値を初期化するには [初期化] をタッチし、確認画面で [はい] をタッチします。

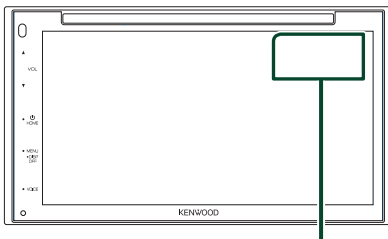
接続 / 取り付け

本機を取り付ける前に

本機を取り付ける前に、以下の注意事項をご確認ください。

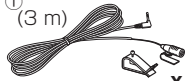







■ 接続および取り付けに関する注意事項

- 熱を発生する金属の部品から、すべてのケーブルを遠ざけてください。
- ご使用の車のエンジンキーに ACC ポジションがない場合、エンジンキーでオン / オフできる電源にアクセサリ電源コードを接続してください。アクセサリ電源コードをバッテリー電源コードなど、常に電圧がかかっている電源へ接続すると、バッテリーが消耗する場合があります。
- システムに 2 つのスピーカーのみ接続している場合、両方のコネクタをフロント出力端子またはリア出力端子のどちらかに接続してください（フロントとリアの両方に接続しないでください）。例えば、左スピーカーの ⊕ コネクタをフロント出力端子に接続した場合は、⊖ コネクタをリア出力端子に接続しないでください。
- 取り付け角度が 30° 以内になるように本機を取り付けてください。
- 本機を車両に設置するときパネルの表面を強く押さないでください。強く押すと、キズ、破損、故障を引き起こす場合があります。
- Bluetooth アンテナの近くに金属物があると、受信の妨げになる場合があります。



Bluetooth アンテナユニット

■ 取り付け用の同梱付属品

① (3 m)  x1	② (2 m)  x1
③  (M5 × 6 mm) x6	④  (M5 × 8 mm) x6
⑤  x1	⑥  x1
⑦  x1	⑧  (M5 × 8 mm) x1

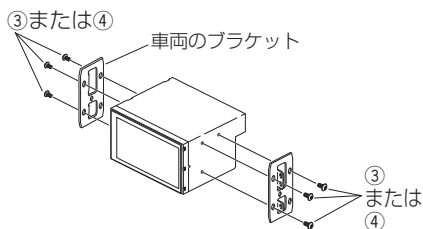
注意：本製品のすべての内容物を記載しているわけではありません。

本機の取り付け

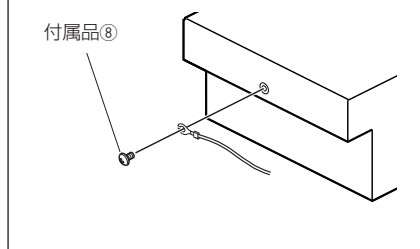
■ 取り付け手順

- 1) ショートを防ぐために、エンジンキーを抜いてから、バッテリーの ⊖ 端子を外します。
- 2) マイクを取り付けます。(P.53)
- 3) 周辺機器を接続します。(P.54)
- 4) スピーカーケーブルを接続します。(P.55)
- 5) 電源ケーブルを接続します。(P.55)
- 6) 本機を車に設置します。
本機を適切な場所にしっかりと設置します。本機が不安定な場合、不具合（音声が飛ばすなど）が起こる可能性があります。
- 7) バッテリーの ⊖ 端子を再接続します。
- 8) リセットボタンを押します。(P.8)
- 9) 初期設定を行います。(P.11)

■ 車両から取り外した取り付けブラケットで本機を取り付ける



別売品のワイヤリングキットや別売のカメラなどのアースコードは、付属品⑧のネジで本機の背面に固定します。



■ ホンダ車に取り付ける場合

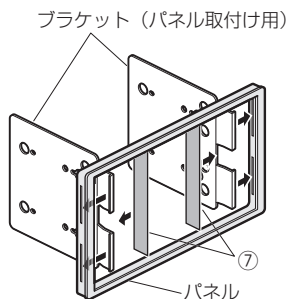
ホンダ車用カー AV 取付キット UA-H**D (別売品) を使用する場合の取り付け方法を補足説明します。

・「**」には品番の数字が入ります。

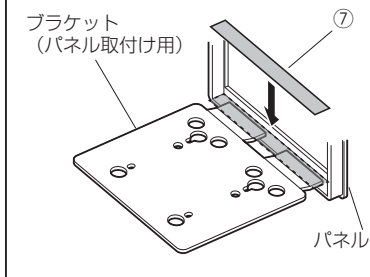
注意・補足

・パネル、ブラケット (パネル取付け用) の取り付け以外は、ホンダ車用カー AV 取付キット UA-H**D (別売品) に付属の取付説明書をご覧ください。

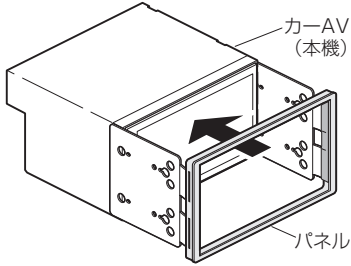
- 1) パネルにブラケット (パネル取付け用) を取り付け、テープ (黒) ⑦ を貼り付けます。



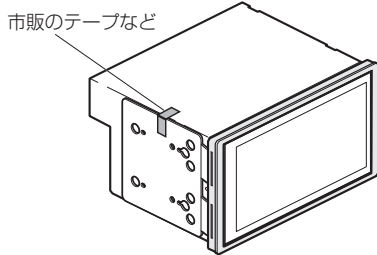
ブラケット (パネル取付け用) が隠れるようにテープ (黒) ⑦ を貼り付けます。



- 2) カー AV (本機) に手順1で組み立てたパネルを取り付けます。

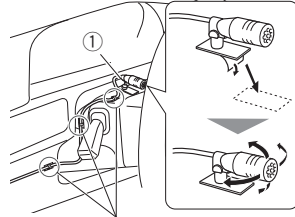


- 3) 市販のテープなどでブラケット (パネル取り付け用) を仮固定します。



Bluetooth マイク

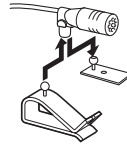
- 1) マイク (付属品 ①) の取り付け位置を確認します。
- 2) 取り付け面の汚れをきれいに拭き取ります。
- 3) マイクのはくり紙を剥がし、取り付け位置に貼り付けます。
- 4) マイクのケーブルを本機に接続し、市販のテープなどを使用して数箇所固定します。
- 5) マイクが運転者に向くよう調整します。



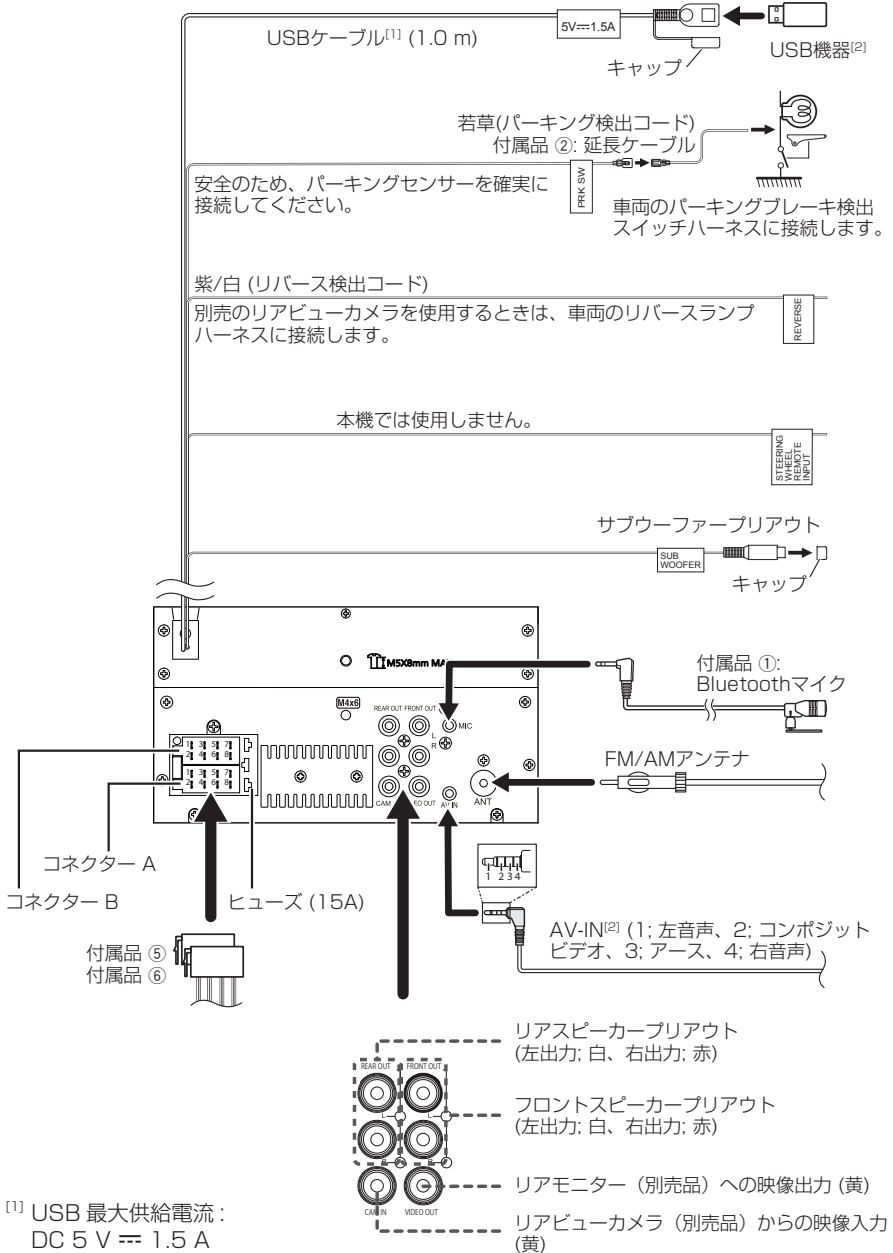
市販のテープなどでケーブルを固定します。

注意・補足

- 取り付け方に合わせて、もう一方のクリップをご使用ください。



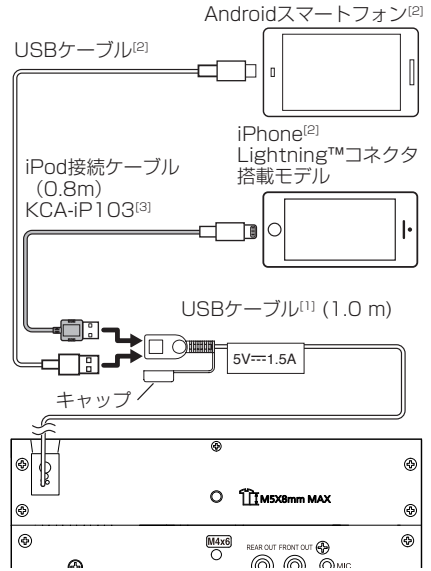
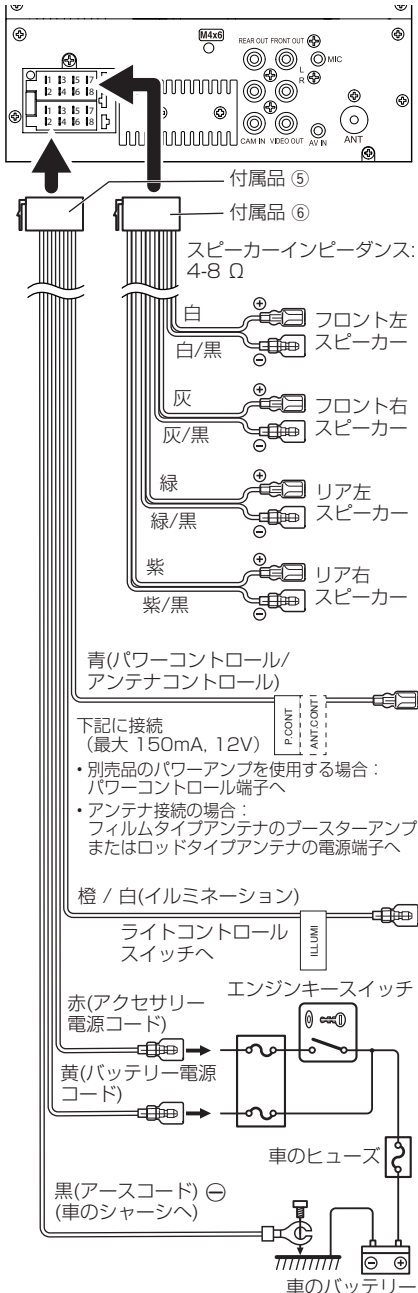
ケーブル接続



^[1] USB 最大供給電流:
DC 5 V = 1.5 A

^[2] 市販品

iPhone/Android スマート フォンの接続



[1] USB 最大供給電流: DC 5 V --- 1.5 A

[2] 市販品

[3] 別売品

故障かな？と思ったら

問題と解決方法

困ったことが起きたら、まずこの章の記載に当てはまらないか確認してください。

注意・補足

- ・本機には、設定したモードによって無効になる機能もあります。
- ・故障だと思って、ちょっとした操作ミスや配線ミスの場合もあります。

設定について

- ・サブウーファーの設定ができない。
- ・サブウーファーの位相の設定ができない。
- ・サブウーファーから出力がない。
- ・ローパスフィルターの設定ができない。
- ・ハイパスフィルターの設定ができない。

サブウーファーがオンにならない。

- ▶ サブウーファーをオンにします。**スピーカー/クロスオーバー設定 (P.46)** をご覧ください。

オーディオの操作について

ラジオの受信状態が悪い。

車のアンテナが伸びていない。

- ▶ アンテナを最大まで伸ばします。
- ▶ アンテナコントロールコードが接続されていない。
- ▶ コードを正しく接続します。**ケーブル接続 (P.54)** をご覧ください。

フォルダを選択できない。

ランダム再生機能が有効になっています。

- ▶ ランダム機能をオフにします。

VCD 再生中にリピート再生ができない。

PBC 機能が有効になっています。

- ▶ PBC 機能をオフにします。

オーディオファイルの再生中に音が飛ぶ。

オーディオファイルの記録状態に問題がある。

- ▶ もう一度記録しなおすか、別の USB メモリーを使用します。

特定のディスクは再生しないが、ほかのディスクは再生できる。

ディスクが汚れている。

- ▶ ディスクをきれいにします。**ディスク使用上のご注意 (P.59)** をご覧ください。
- ディスクにかなりひどい傷がある。
- ▶ほかのディスクを試してください。

音楽 CD の再生中に音が飛ぶ。

ディスクに傷があるか汚れている。

- ▶ ディスクをきれいにします。**ディスク使用上のご注意 (P.59)** をご覧ください。

その他

タッチセンサー音が鳴らない。

プリアウトジャックが使用中です。

- ▶ タッチセンサー音はプリアウトジャックの使用中には出力されません。

Android スマートフォンの動作が遅い。

Android スマートフォンで複数のアプリが起動している場合に生じます。

- ▶ 下記の**スマートフォンユーザーの皆さんへのご注意 (P.56)** をご覧ください。

スマートフォンユーザーの皆さんへのご注意

画面の共有中に同時に複数のアプリをスマートフォンで起動させると、スマートフォンのマイクロプロセッサに負荷がかかり、通信や機能に影響することがあります。

- ▶ KENWOOD 製の受信器とのペアリング中は、最高のパフォーマンスを引き出すため、不要なアプリは終了させておいてください。

エラーメッセージ

本機が正しく動作しないとき、その理由がメッセージで画面に表示されます。

[ディスクが読めません。]

再生できないディスクが挿入されている。

- ▶ ディスクを交換します。**メディアおよびファイルについて (P.58)** をご覧ください。

[リージョンコードエラー]

再生したいディスクは本機で再生できないリージョンコードのディスクです。

- ▶ **世界のリージョンコード (P.62)** をご覧ください。ただか、別のディスクでお試ください。

[デバイスがありません] (USB 機器)

USB 機器が接続されていないのに、ソースとして USB 機器が選択されている。

- ▶ USB 以外のソースに変更します。USB 機器を接続し、もう一度ソースを USB に変更します。

[接続されていません] (Bluetooth オーディオプレーヤー)

Bluetooth オーディオプレーヤーが接続されていないのに、Bluetooth オーディオプレーヤーがソースとして選択されている。

- ▶ Bluetooth 以外のソースに変更します。Bluetooth オーディオプレーヤーを接続し、もう一度ソースを Bluetooth に変更します。

[メディアファイルなし]

接続された USB 機器に再生可能なオーディオファイルが入っていない。本機が再生できるデータが記録されていないメディアが再生された。

- ▶ **メディアおよびファイルについて (P.58)** をご覧いただき、別の USB 機器でお試ください。

付録

メディアおよびファイルについて

本機では様々な種類のメディアとファイルが再生いただけます。

■ 本機で再生できるディスクメディア

注意・補足

・8cm (3 インチ) ディスクは使用できません。

	分類 / 規格	対応	説明
DVD	DVD ビデオ	○	
	DVD オーディオ	×	
	DVD-VR	○	
	DVD-R	○	DVD ビデオ形式と DVD-VR 形式のみ。
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	DVD ビデオ形式のみ。
	DVD+RW	○	
	DVD-R DL (2 層)	○	DVD ビデオ形式と DVD-VR 形式のみ。
	DVD+R DL (2 層)	○	DVD ビデオ形式のみ。
	DVD-RAM	×	
CD	音楽 CD	○	
	DTS-CD	×	
	ビデオ CD (VCD)	○	
	スーパービデオ CD	×	
	Photo CD	×	
	CD-EXTRA	○	音楽 CD のセッションのみ再生可能。
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質で再生。
	CCCD	×	
	CD-ROM	×	
	CD-R	○	CD-DA 形式とビデオ CD 形式のみ。
		CD-RW	○
その他	デュアルディスク	×	
	スーパーオーディオ CD	△	CD レイヤーのみ再生可能。

○ : 再生できます

△ : 一部のみ再生できます

× : 再生できません

注意・補足

・「デュアルディスク」を本機で再生する場合、ディスクの再生されない面はディスクが挿入されるまたは取り出される際に傷つく可能性があります。音楽 CD の表面は CD 規格に準拠していないため、再生はできません。

(「デュアルディスク」は、片面に DVD 規格の信号を含み、反対の面に音楽 CD 信号を含むディスクです。)

■使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。



- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。
- 記録面（レーベル面の反対側）に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱ってください。
- ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RW および DVD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、レーベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

■ディスク使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽く拭き取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。

■ ファイルについて (USB 機器のみ)

以下のオーディオおよびビデオファイルには対応しています。

■ 再生できるオーディオファイル

	フォーマット	ビットレート	サンプリング周波数	ビットカウント
AAC-LC (.m4a)	MPEG2、MPEG4 AAC LC HE-AAC(V1,V2)	8～320kbps、VBR	16～48 kHz	16 bit
MP3 (.mp3)	MPEG1、MPEG2 Audio Layer 3	8～320kbps、VBR	16～48 kHz	16 bit
WMA (.wma)	Windows Media Audio Standard L3 プロファイル (Version 7,8,9)	8～320kbps	16～48 kHz	16 bit
Linear PCM (WAVE) (.wav)	RIFF waveform オーディオフォーマット	-	16～192 kHz	16/ 24 bit
FLAC (.flac)	flac	-	16～192 kHz	16/ 24 bit
Vorbis (.ogg)	vorbis	VBR	16～48 kHz	16 bit

注意・補足

- 通常の音楽 CD およびその他の再生システムが同じディスクに記録されている場合、初めに記録された再生システムのみが再生されます。
- DRM でコピーされた WMA/AAC ファイルは再生できません。
- 一覧にある規格のオーディオファイルであっても、メディアやデバイスの種類や条件によっては再生できないものもあります。
- 本機は高画質オーディオファイルの再生に対応しています。高品質なサウンドをお楽しみいただくため、カーオーディオシステムは、プレーヤーからスピーカーまですべて高画質オーディオ対応のものをお勧めします。

■再生できるビデオファイル

	プロファイル	最大画像サイズ	最大ビットレート	オーディオ形式
MPEG-1 (.mpg、.mpeg)	-	352 × 240、 352 × 288	1.5 Mbps	MPEG Audio Layer 2
MPEG-2 (.mpg、.mpeg)	MP@ML	720 × 480、 720 × 576	8 Mbps	MPEG Audio Layer 2
H.264/MPEG-4 AVC (.mp4、.m4v、.avi、.flv、 .f4v)	Baseline Profile、 Main Profile	1920 × 1080 (30 fps)	8 Mbps	MP3、AAC
MPEG-4 (.mp4、.avi)	Advanced Simple Profile	1920 × 1080 (30 fps)	8 Mbps	MP3、AAC
WMV (.wmv)	Main Profile	1920 × 1080 (30 fps)	8 Mbps	WMA
MKV (.mkv)	ビデオフォーマットは H.264/MPEG-4 AVC、 MPEG-4、WMV に準拠			MP3、AAC、 WMA、Vorbis、 FLAC

注意・補足

- 本機は 4GB 以上のファイルは再生できません。

■ファイルとフォルダのストラクチャの制限

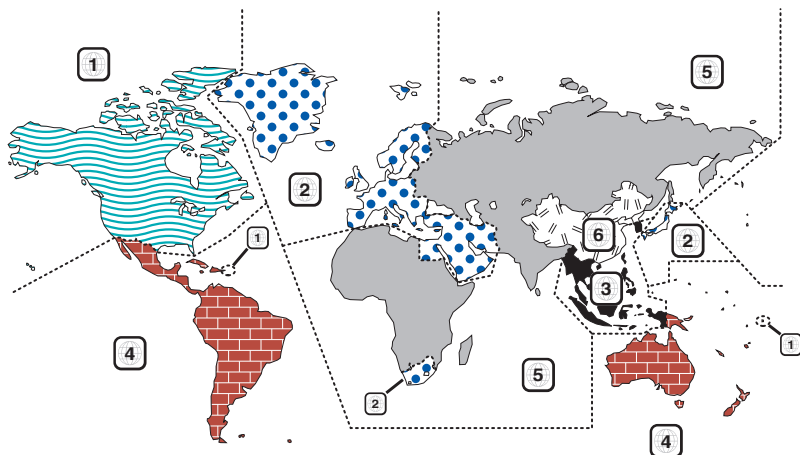
	USB 機器
フォルダレイヤーの最大数	8
ファイルの最大数 (フォルダ毎)	999
フォルダの最大数 (フォルダ毎)	9999
フォルダの最大数 (機器毎)	-

注意・補足

- フォルダ名およびファイル名の入力は、半角 255 文字以下です。
- ドット (.) で始まる名前のフォルダにあるファイルは再生できません。

世界のリージョンコード

DVD プレーヤーには、以下の地図に示すように、国や地域または販売される地域に応じてリージョンコードが割り当てられています。



■ DVD ディスクのマーク



リージョンコードを表します。このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。



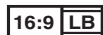
収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。



収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。



複数のアングルで撮影された映像が記録されている場合は、お好みのアングル（角度）で見ることができます。



映像の画面タイプを表します。このマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

■ 操作禁止マーク

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等が規制される場合があります。このようなときは上記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。



■ 使用期間が限定されたディスク

使用期限のあるディスクを本機に入れたままにしないでください。期限切れのディスクを読み込ませると、本機から取り出せなくなる場合があります。

言語コード (DVD 言語選択用)

コード	言語
aa	アフhaal語
ab	アブハズ語
af	アフリカーンス語
am	アムハラ語
ar	アラビア語
as	アッサム語
ay	アイマラ語
az	アゼルバイジャン語
ba	バシキール語
be	ベラルーシ語
bg	ブルガリア語
bh	ビハール語
bi	ビスラマ語
bn	ベンガル語
bo	チベット語
br	ブルトン語
ca	カタロニア語
co	コルシカ語
cs	チェコ語
cy	ウェールズ語
da	デンマーク語
de	ドイツ語
dz	ブータン語
el	ギリシャ語
en	英語
eo	エスペラント語
es	スペイン語
et	エストニア語
eu	バスク語
fa	ペルシア語
fi	フィンランド語
fj	フィジー語
fo	フェロー語
fr	フランス語
fy	フリジア語
ga	アイルランド語
gd	高地スコットランド・ゲール語
gl	ガリシア語
gn	グアラニ語
gu	グジャラート語
ha	ハウサ語
he	ヘブライ語
hi	ヒンディー語
hr	クロアチア語
hu	ハンガリー語

コード	言語
hy	アルメニア語
ia	インターリンガ語
ie	インターリング
ik	イヌピアック語
id	インドネシア語
is	アイスランド語
it	イタリア語
ja	日本語
jv	ジャワ語
ka	ジョージア語
kk	カザフ語
kl	グリーンランド語
km	カンボジア語
kn	カンナダ語
ko	韓国語
ks	カシュミール語
ku	クルド語
ky	キルギス語
la	ラテン語
lb	ルクセンブルク語
ln	リンガラ語
lo	ラオ語
lt	リトアニア語
lv	ラトビア語
mg	マラガシ語
mi	マオリ語
mk	マケドニア語
ml	マレーシア語
mn	モンゴル語
mo	モルダビア語
mr	マラーティー語
ms	マレー語
mt	マルタ語
my	ビルマ語
na	ナウル語
ne	ネパール語
nl	オランダ語
no	ノルウェー語
oc	オック語
om	オロモ語
or	オリヤー語
pa	パンジャーブ語
pl	ポーランド語
ps	パシュトー語
pt	ポルトガル語
qu	ケチュア語

コード	言語
rm	レト・ロマンンス語
rn	ルンディ語
ro	ルーマニア語
ru	ロシア語
rw	ルワンダ語
sa	サンスクリット語
sd	シンド語
sg	サンゴ語
sh	セルビア・クロアチア語
si	シンハラ語
sk	スロバキア語
sl	スロベニア語
sm	サモア語
sn	ショナ語
so	ソマリ語
sq	アルバニア語
sr	セルビア語
ss	スワティ語
st	南ソト語
su	スンダ語
sv	スウェーデン語
sw	スワヒリ語
ta	タミル語
te	テルグ語
tg	タジク語
th	タイ語
ti	ティグリーニア語
tk	トルクメン語
tl	タガログ語
tn	ツワナ語
to	トンガ語
tr	トルコ語
ts	ツォンガ語
tt	タタール語
tw	チュイ語
uk	ウクライナ語
ur	ウルドゥー語
uz	ウズベク語
vi	ベトナム語
vo	ボラビューク語
wo	ウォロフ語
xh	コサ語
yo	ヨルバ語
zh	中国語
zu	ズールー語

主な仕様

■ モニター部

- LCD 画面サイズ
: 6.8V 型ワイド
: 151.8 mm (幅) × 79.7 mm (高さ)
- 表示方式
: 透過 TN 型
- 駆動方式
: TFT アクティブマトリクス
- 画素数
: 1,152,000 (800H × 480V × RGB)
- 有効画素数
: 99.99%
- 画素配列
: RGB ストライプ配列
- 使用光源 (照明方式)
: LED

■ DVD プレーヤー部

- D/A コンバータ
: 24 bit
- オーディオフォーマット
: リニア PCM/ Dolby Audio
- ワウ & フラッター
: 測定限界以下
- 周波数特性
• 96kHz サンプリング時: 20 ~ 22,000 Hz
• 48 kHz サンプリング時: 20 ~ 22,000 Hz
• 44.1 kHz サンプリング時: 20 ~ 22,000 Hz
- 高周波歪率
: 0.0001% (1 kHz)
- S/N 比
: 90.5 dB
- ダイナミックレンジ
: 89 dB
- 対応ディスク
: DVD-Video/ VIDEO-CD/ CD-DA/
DVD-R/ DVD-RW/ DVD+R/ DVD+RW
- サンプリング周波数
: 44.1/ 48/ 96 kHz
- 量子化ビット数
: 16/ 20/ 24 ビット直線

■ USB I/F 部

- USB 規格
: USB 2.0 High Speed
- ファイルシステム
: FAT 16/ 32, exFAT
- 最大供給電流
: DC 5 V $\overline{\text{III}}$ 1.5 A
- D/A コンバータ
: 16 bit
- オーディオフォーマット
: MP3/ WMA/ AAC/ WAV/ FLAC
- ビデオフォーマット
: MPEG1/ MPEG2/ MPEG4/ WMV/
H.264/ MKV
- 周波数特性
• 192 kHz サンプリング時: 20 ~ 20,000 Hz
• 96 kHz サンプリング時: 20 ~ 20,000 Hz
• 48 kHz サンプリング時: 20 ~ 20,000 Hz
• 44.1 kHz サンプリング時: 20 ~ 20,000 Hz

- 高周波歪率
: 0.2% (1 kHz)

- S/N 比
: 75 dB

- ダイナミックレンジ
: 75 dB

■ Bluetooth 部

- Bluetooth バージョン
: Bluetooth Ver. 4.1
- 動作周波数
: 2.402 ~ 2.480 GHz
- RF 出力 (E.I.R.P.)
: +8 dBm (Avg.), パワークラス 2
- 最大通信距離
: 見通し線 約 10m
- 対応コーデック
: SBC/ AAC
- 対応プロファイル (Multi Profile support)
- HFP (Hands Free Profile)
 - SPP (Serial Port Profile)
 - A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
 - AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)
 - PBAP (Phonebook Access Profile)

■ DSP 部

グラフィックイコライザー

バンド: 13 Band

周波数 (バンド 1 ~ 13)

: 62.5/ 100/ 160/ 250/ 400/ 630/
1k/ 1.6k/ 2.5k/ 4k/ 6.3k/ 10k/ 16k Hz

ゲイン

: -9/ -8/ -7/ -6/ -5/ -4/ -3/ -2/ -1/ 0/
+1/ +2/ +3/ +4/ +5/ +6/ +7/ +8/ +9
dB

2 ウェイ クロスオーバー

HPF 周波数

周波数: Through, 30/ 40/ 50/ 60/ 70/
80/ 90/ 100/ 120/ 150/ 180/
220/ 250 Hz

スロープ: -6/ -12/ -18/ -24 dB/ Oct.

ゲイン: -8/ -7/ -6/ -5/ -4/ -3/ -2/ -1/ 0
dB

LPF 周波数

周波数: 30/ 40/ 50/ 60/ 70/ 80/ 90/
100/ 120/ 150/ 180/ 220/
250 Hz, Through

スロープ: -6/ -12/ -18/ -24 dB/ Oct.

ゲイン: -8/ -7/ -6/ -5/ -4/ -3/ -2/ -1/ 0
dB

ポジション

フロント / リア / サブウーファー ディレイ

: 0 ~ 6.1 m (0.01 m Step)

ゲイン

: -8 ~ 0 dB

サブウーファーレベル

: -40 ~ +6 dB

■ FM チューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)

: 76.0 MHz ~ 99.0 MHz (100 kHz)

実用感度 (S/N: 30 dB)

: 16.2 dBf (1.8 μ V/75 Ω)

感度 (DIN S/N: 46 dB)

: 13 dBf (4.47 μ V/75 Ω)

周波数特性 (\pm 3.0 dB)

: 30 Hz ~ 14 kHz

S/N 比 (dB)

: 50 dB (MONO)

選択度 (\pm 400 kHz)

: Over 80 dB

ステレオセパレーション

: 35 dB (1 kHz)

■ AM チューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)

: 522 ~ 1629 kHz (9 kHz)

実用感度

: 99 μ V (40 dB μ)

■ 映像部

映像方式

: NTSC / PAL

外部映像入力レベル (ϕ 3.5 端子)

: 1 Vp-p/ 75 Ω

外部音声最大入力レベル (RCA 端子)

: 1.5 V/ 25 k Ω

映像出力レベル (RCA 端子)

: 1 Vp-p/ 75 Ω

■ オーディオ部

最大出力

: 45 W \times 4

定格出力 (at less than 1% THD)

: 21 W \times 4

周波数特性

: 20 ~ 20,000 Hz

プリアウトレベル (V)

: 2 V/ 10 k Ω

プリアウトインピーダンス

: 1.4 k Ω

スピーカーインピーダンス

: 4 ~ 8 Ω

■ 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧

: 12V DC Car Battery

本体埋込寸法 (W \times H \times D)

: 178 \times 100 \times 153 mm

重量 (本体)

: 1.8 kg

注意・補足

- 液晶パネルは 99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがあります。

仕様は予告なく変更になる場合があります。

本機について

■ 著作権

- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Dolby,ドルビー、Dolby Audio およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。
- DVD** is a trademark of DVD Format/Logo Licensing Corporation registered in the U.S., Japan and other countries.
- This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi. Reverse engineering and disassembly are prohibited.
- Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Apple, Siri, Apple CarPlay and Apple CarPlay logo are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.
- App Store is a service mark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Sirius, XM and all related marks and logos are trademarks of Sirius XM Radio Inc. All rights reserved.
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Google, Android, Google Play and Android Auto are trademarks of Google LLC.
- To use Android Auto on your car display, you'll need an Android Auto compatible vehicle or aftermarket stereo, an Android phone running Android 5.0 or higher, and the Android Auto app.
- Linux® is the registered trademark of Linus Torvalds in the U.S. and other countries.
- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO")

AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSE MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM).
 - THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)
 - libFLAC
Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalsoun
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
 - Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 - Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
 - Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
- THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON

ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- libvorbis
Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
 - Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 - Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
 - Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- libogg
Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
 - Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 - Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
 - Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT

LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このDVD レシーバー製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第 1 条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第 3 条第 1 項に定める例外を除き譲渡不能な使用权を使用者に許諾します。

第 2 条（使用权）

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含めたとに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第 3 条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用权については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとします。

第 5 条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第 7 条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第 8 条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

■ ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.kenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。掲載場所は [設定] - [Special] の [オープンソースライセンス] です。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHS からは 0570-010-114 (ナビダイヤル)
IP 電話などからは 045-450-8950
(受付時間などは、裏表紙を参照してください。)

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P. 56)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

- 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

- 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
製品を修理のために、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニットなどがある場合は、ディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

- 車両からの取り外し / 取り付けについて
修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターにお持ちください。
なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

- 修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)
技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

保証規定

- 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - 本保証書のご提示のない場合。
 - 本保証書に形名 / 製造番号の印字のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。(取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、責任を負いません。)
 - 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - 一般車載用途以外に使用された場合の故障および損傷。(例えば、業務用の長時間使用、船舶<船舶用製品を除く>、直流電源装置を用いた一般家庭での使用等)
 - 製造番号の改変および、取り外した製品。
 - 消耗部品 (例えば、SD メモリーカード、乾電池、充電電池等) の交換。
 - 1) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
 - 2) 予告なく変更や追加される、あるいは規格の異なる記録媒体、アプリケーション、コンテンツ、放送および電源電圧による不具合。(インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく休止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。)
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- ※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
- ※ 本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
- ※ 保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ 本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

形名／製造番号		※お買い上げ日	
DDX5020S		年 月 日	
		保証期間 (お買い上げ日より)	
		1 年	
※お客様	お名前	様	
	ご住所 〒		
		電話番号 ()	
※販売店	店名・住所		
		電話番号 ()	

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状況で万が一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 無料修理の条件について、詳しくは本ページ裏側の「保証規定」をご覧ください。
- 修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00
土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。